

一般社団法人山口県社会福祉士会  
第30回定時社員総会

議案資料集



期 日 2024 年 6 月 29 日（土）

場 所 山口県健康づくりセンター第一研修室

一般社団法人山口県社会福祉士会  
第 30 回定時社員総会

議案資料集目次・日程

■目次

I 議案

【決議事項】

第 1 号議案	2023 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
第 2 号議案	2023 年度決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4 1

■日程

13：00～14：30

『定時社員総会』

15：00～16：30

『山口県社会福祉士会講演会』

社会福祉士・社会福祉士会に求められる役割

講師：西島 義久

（公益社団法人日本社会福祉士会/会長）

一般社団法人山口県社会福祉士会

第 30 回定時社員総会

第 1 号議案

2023 年度事業報告

**2023 年度 一般社団法人 山口県社会福祉士会  
事 業 報 告**

2023 年度事業計画に対応させ、2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日までの本会の運営及び事業の実施状況を報告する。

**1. 組織の状況**

会員の加入状況

- 【正会員】 2023 年 4 月 1 日現在 691 名（新入会員 39 名）  
2024 年 3 月 31 日現在 722 名  
【賛助会員】 2023 年度賛助会員数 3 法人，個人 1 名

**2. 活動**

**（1）役員会等の開催報告**

**1）総会報告**

第 28 回定時社員総会 2023 年 6 月 24 日 山口県教育会館

○議案事項

議案第 1 号 2022 年度事業報告

議案第 2 号 2022 年度収支決算

第 29 回定時社員総会 2024 年 3 月 23 日

○議案事項

議案第 1 号 2024 年度事業計画

議案第 2 号 2024 年度収支予算

**2）業務執行理事会報告**

第 1 回業務執行理事会 2023 年 4 月 10 日 オンライン会議

○協議事項

ブロック長会議に向けた協議

第 2 回業務執行理事会 2023 年 5 月 8 日 オンライン会議

○協議事項

第 1 号協議事項 第 1 回通常理事会の審議・協議・報告事項について

第 3 回業務執行理事会 2023 年 8 月 21 日 オンライン会議

○協議事項

第 1 号協議事項 第 2 回通常理事会の審議・協議・報告事項について

第 2 号協議事項 県内のソーシャルワーカー関係団体以外との連携について

第 4 回業務執行理事会 2023 年 11 月 14 日 オンライン会議

第 2 回総合企画部会に参画し、来年度の事業内容の検討

第 5 回業務執行理事会 2023 年 11 月 11 日 オンライン会議

○協議事項

第 1 号協議事項 第 3 回通常理事会の審議・協議・報告事項について

第 6 回業務執行理事会 2024 年 1 月 29 日 オンライン会議

○協議事項

第 1 号協議事項 第 4 回通常理事会の審議・協議・報告事項について

**3）理事会報告**

第 1 回通常理事会 2023 年 5 月 13 日 オンライン会議

○議案事項

第 1 号議案 2022 年度事業報告

第 2 号議案 2022 年度決算報告

第 3 号議案 第 28 回定時社員総会の日時及び場所並びに議案事項

○協議事項

第 1 号協議 繰越残高について

第 2 号協議 山口県における災害福祉支援体制の整備について

○報告連絡事項

- 第1号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告
- 第2号報告連絡 会員数状況及び変動の報告
- 第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告
- 第4号報告連絡 後援承諾の報告
- 第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告
- 第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告
- 第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告
- 第8号報告連絡 ブロック会員からの意見
- 第9号報告事項 ブロック長会議の報告

**第1回臨時理事会** 2023年6月24日 会場：山口県教育会館

○議案事項

- 第1号議案 会長の選任について
- 第2号議案 副会長の選任について
- 第3号議案 事務局長の委嘱について
- 第4号議案 常任理事の選任について
- 第5号議案 部及び委員会担当理事の選任について
- 第6号議案 委員会の委員の選任について
- 第7号議案 企画チーム委員の選任について

**第2回通常理事会** 2023年8月26日 オンライン会議

○本会議前 「山口県における DWAT の取り組みについて（県厚政課より説明）」

○報告連絡事項

- 第1号報告連絡 事業遂行状況の報告
- 第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告
- 第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告
- 第4号報告連絡 後援承諾の報告
- 第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告
- 第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告
- 第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告
- 第8号報告連絡 子ども権利擁護推進に係る事業の専任職員の採用

**第3回通常理事会** 2023年12月16日 オンライン会議

○議案事項

- 第1号議案 第29回定時社員総会の日時及び場所並びに議案事項

○協議事項

- 第1号協議 非会員の参加費徴収について
- 第2号協議 第二期中期計画に向けた組織体制について
- 第3号協議 委員会委員などへの手当について

○報告連絡事項

- 第1号報告連絡 事業遂行状況の報告
- 第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告
- 第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告
- 第4号報告連絡 後援承諾の報告
- 第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告
- 第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告
- 第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告
- 第8号報告連絡 事務局体制について

**第4回通常理事会** 2024年2月3日 オンライン会議

○議案事項

- 第1号協議 非会員の参加費徴収について
- 第2号協議 委員会委員などへの手当について
- 第3号協議 諸規程類の改正案
- 第4号議案 2024年度事業計画
- 第5号議案 2024年度収支予算

○報告連絡事項

- 第1号報告連絡 第二期中期計画について
- 第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告
- 第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告
- 第4号報告連絡 後援承諾の報告
- 第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告
- 第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告
- 第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告

#### 4) 2021年度監査報告

- 監査内容 2022年度事業報告・決算報告
- 開催日 2023年5月10日
- 開催方法 電磁的方法
- 監査人 大神尚子、佐々木啓太

#### 5) ブロック長会議報告

- 開催日 2023年4月15日
- 開催場所 オンライン会議
- 内容

会員数の状況及び変動、ブロック活動事業報告及び収支決算、ブロック活動運営、総会の議決権行使の結果、ブロック長の選出、ブロック会員名簿、総合企画部&ブロック長会議などについて

#### 6) ブロック長&総合企画部担当理事合同会議報告

##### 第1回ブロック長&総合企画部担当理事合同会議

- 開催日 2023年11月18日
- 形式 オンライン会議
- 内容

来年度のブロック活動計画について、非会員の参加費徴収について、各ブロックとブロック担当理事との連携について、第二期中期計画に向けた組織体制について、ブロック活動の流れについて、事業計画と予算の提出について

## (2) 委託事業部

事業方針にもとづき、委託事業部は次の事業を行った。

### ■委員会名：障害者権利擁護センター委員会

- 担当理事：服部恭弥
- 委員長：磯地美香
- 副委員長：石津育幸
- 委員：岡本英樹、伊藤孝司、平岡龍一郎、原田和夫、荒川奈津枝、石川智子、森尾憲嗣、橘康彦、末田真由美

#### 【委員会設置目的】

社会福祉の援助を必要とする山口県民の生活と権利を擁護するため、障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、虐待発生後に適切な支援を行うため、関係機関等の協力体制の整備や支援体制の強化を図る権利擁護等に関する事業を行う。

#### 【基本方針】

- 障害者虐待防止法の周知啓発を図る。
- 障害者虐待防止について、研修会、派遣活動等を通じて適切な支援を行う。

<b>【重点目標】</b> 障害者虐待防止法の一層の周知啓発を図るとともに、障害者虐待の未然防止に向けた取り組みを図る。	
事業計画	事業報告
1. 使用者による障害者虐待に関する通報又は届出の受理	1. 山口県障害者権利擁護センターの設置 本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話対応。
2. 社会福祉士1名を配置し、障害者虐待を受けた障害者に関する各般の問題及び養護者に対する支援に関する相談対応又は関係機関の紹介	1. 山口県障害者権利擁護センターの設置 本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話対応。
3. 障害者虐待を受けた障害者及び養護者に対する支援のための情報提供、助言、関係機関との連絡調整その他援助	1. 山口県障害者権利擁護センターの設置 本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話対応。
4. 障害者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する情報収集、分析、及び提供並びに市町の事例検討会への専門的助言	1. 第1回事例分析検討会の開催 <b>【内容】</b> 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待と思われる事例 <b>【開催日】</b> 3/5 <b>【場所】</b> 山口県社会福祉会館 <b>【参加数】</b> 社会福祉士7名、弁護士4名
5. 障害者虐待防止・権利擁護研修の開催	1. 市町虐待防止センター職員対象に研修の実施 (1) 令和5年度障害者虐待防止・権利擁護研修(市町虐待防止センター職員対象) 1) 1回目 <b>【形式】</b> オンデマンド講義、オンライン研修 5/23 <b>【参加数】</b> 20名 <b>【内容】</b> オンデマンド講義: ①障害者虐待防止法の概要(講師) 関哉直人(弁護士) ②障害者福祉施設従事者などによる障害者虐待の防止と対応(講師) 遅塚昭彦(さいたま市自立支援協議会会長、公益社団法人埼玉県社会福祉士会理事) ③当事者の声を聞く オンライン研修: ①障害者虐待防止・権利擁護研修のポイント(講師) 濱崎翔(山口県障害者支援課/主任) ②養護者による障害者虐待における対応の流れ(講師) 藤井哲治(萩市権利擁護支援センター) ③山口県障害者権利擁護センターについて(講師) 松崎彩子(山口県障害者権利擁護センター/相談窓口職員) 2) 2回目 <b>【開催日】</b> オンデマンド講義 11/2～12/22、集合研修 11/28 <b>【形式】</b> オンデマンド配信・集合研修 <b>【参加数】</b> 15名 <b>【内容】</b> オンデマンド講義: ①障害者虐待総論-成立までの経過、社会的意義(講師) 野澤和弘(植草学園大学) ②障害者虐待防止法の概要(講師) 関哉直人(弁護士) ③性的虐待の防止と対応(講師) 江まゆみ(白梅学園大学) ④身体拘束の廃止に向けて(講師) 生労働省 ⑤通報の意義と通報後の対応～通報はすべての人をう～(講師) 曾根直樹(日本社会事業大学) ⑥養護者による障害者虐待の防止と対応(1)(講師) 野村政子(東都大学ヒューマン

	<p>ア学部) ⑦養護者による障害者虐待の防止と対応(2) (講師) 谷泰司 (関西福祉大学社会福祉学部) ⑧障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の防止と対応 (講師) 遅塚昭彦 (さいたま市自支援協議会) ⑨使用者による障害者虐待の防止と対応 (講師) 生労働省⑩事実確認調査における情報収集と面接手法 (基礎) (講師) 曾根直樹 (日本社会事業大学) ⑪事実確認調査における情報収集と面接手法 (応用編) (講師) 曾根直樹 (日本社会事業大学) ⑫当事者の声 集合研修: ①障害者虐待防止・権利擁護研修のポイント (講師) 濱崎翔 (山口県障害者支援課/主任) ②養護者による障害者虐待防止の通報受理から養護者支援の検討にかけての演習 (講師) 齊郷 壮哲 (柳井市社会福祉課/主査) ③施設従事者による障害者虐待防止の通報受理から事業所指導の検討にかけての演習 (講師) 齊郷 壮哲 (柳井市社会福祉課/主査) ④山口県障害者権利擁護センターについて (講師) 山口県社会福祉士会障害者権利擁護センター委員</p> <p>2. 障害者福祉施設等職員対象に研修の実施 (1) 令和5年度障害者虐待防止権利擁護研修の開催 【開催日】 オンデマンド講義 11/2~12/22、①コースのみ集合研修、12/7 午前、同日午後、12/12 午前、同日午後、12/22 午前【形式】 オンデマンド配信・集合研修【対象者】 ①障害者福祉施設等管理者・設置者/虐待防止責任者②障害者福祉施設等従事者③医療機関、学校、幼稚園、保育所、放課後児童クラブの関係者【参加数】 オンデマンド講義①コース名、②コース名、③コース名【内容】 オンデマンド講義: ①障害者虐待総論-成立までの経過、社会的意義 (講師) 野澤和弘 (植草学園大学) ②障害者虐待防止法の概要 (講師) 関哉直人 (弁護士) ③当事者の声④性的虐待の防止と対応 (講師) 堀江まゆみ (白梅学園大学) ⑤身体拘束の廃止に向けて (講師) 厚生労働省 ⑥通報の意義と通報後の対応~通報はすべての人を救う~ (講師) 曾根直樹 (日本社会事業大学) ⑦法人・事業所の理念と管理者の役割 (講師) 松上利男 (社会福祉法人北摂杉の子会) ⑧ 虐待を防止するための日常の取組について① (講師) 大平眞太郎 (社会福祉法人グロー) ⑨虐待を防止するための日常の取組について② ~身体拘束・行動制限の廃止と支援の質の向上~ (講師) 仁田坂和夫 (社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会) ⑩通報プロセスについて (通報した場合の準備含む) (講師) 岩上洋一 (社会福祉法人じりつ) ⑪障害者虐待防止委員会、身体的拘束等の適正化委員会と虐待防止責任者の役割 (講師) 松崎貴之 (厚生労働省 障害福祉課) ⑫虐待防止委員会の実際の運営について (講師) 白井直樹 (社会福祉法人虹の会) 加藤恵 (半田市障がい者相談支援センター)</p> <p>3. パンフレット 障害者虐待防止に係るパンフレットを作成し、関係機関に配布。</p> <p>4. ポスター 障害者虐待防止に係るポスターを作成し、関係機関に配布。</p>
6. 権利擁護専門チーム派遣	<p>1. 市町虐待防止センターへ権利擁護専門チームの派遣 【派遣実績】 6件</p> <p>2. 第1回虐待対応支援専門職チーム連絡協議会に参画 【開催日】 8/16【参加者】 障害者・高齢者権利擁護支援専門職チー</p>



	ム
7. 関係機関等に対する普及啓発及び研修	1. パンフレット・ポスター 障害者虐待防止に係るパンフレットとポスターを作成し、関係機関に配布。
8. 障害者差別解消法の相談窓口の設置	1. 山口県障害者権利擁護センターの設置 本会事務局内に、センターを設置し、平日の9時から17時まで、社会福祉士が電話とメールで対応。  2. パンフレット 障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例に係るパンフレットを作成。
9. 委員会の開催	1. 委員会を開催した。 (1) 1回目 【内容】今年度事業の打ち合わせなど【開催日】4/19【場所】オンライン【参加数】8名 (2) 2回目 【内容】「令和5年度障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」の受講推薦者の選定、事例分析検討会の方向性について【開催日】6/21【場所】オンライン【参加数】5名 (3) 3回目 【内容】「令和5年度障害者虐待防止・権利擁護研修」の開催、障害者虐待防止センター職員向けアンケート実施について【開催日】8/16【場所】オンライン【参加数】8名 (4) 4回目 【内容】障害者虐待防止・権利擁護研修のファシリテーター配置など【開催日】10/18【場所】オンライン【参加数】7名 (5) 5回目 【内容】「事例分析検討会の方向性について」【開催日】1/17【場所】オンライン【参加数】6名 (6) 6回目 【内容】「事例分析検討会議の定期開催について」「令和6年度障害者虐待防止・権利擁護研修 市町職員（初任者）向け研修について【開催日】3月【場所】書面会議
10. 日本社会福祉士会との連携・協力	1. 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会 【開催日】8/27【形式】オンライン【参加者】伊藤孝司、末田真由美
11. 関係機関・団体との連携協力	1. 山口県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり推進会議への委員推薦 【推薦者】辻中浩司  2. 令和5年度「山口県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり推進会議」に出席 【開催日】12/15【会場】山口県庁【出席者】服部恭弥
<b>■総括</b> 委託業務について、例年通り滞りなく実施するとともに、障害者虐待事例分析検討会議に関しても再開し、実績報告を行った。 研修に関しては、国が行う指導者養成研修のカリキュラムが大幅変更され、その内容を踏まえながら、県内での障害者虐待防止権利擁護研修を実施することができた。本研修は、今後もカリキュラム変更が予定されているため、県内での研修も充実を図り、障害者虐待の未然防止に向けた取り組みを図る必要がある。	

■委員会名：高齢者権利擁護推進委員会

○担当理事：上野綾乃

○委員長：内藤誠

○委員：川口里美、宮下紀子、安光正之、山本まゆみ、木原伸

<p>【委員会設置目的】</p> <p>権利擁護業務等について社会福祉士としての専門性を発揮することができるように、また、社会福祉士間のネットワークづくりや個々のスキルアップを図ることを目的として研修等を開催し、地域包括支援センターに従事する社会福祉士を支援する。</p>	
<p>【基本方針】</p> <p>地域包括支援センターにおいて対応に苦慮することが多い「高齢者虐待対応」についての研修会や情報交換をおこなう機会をつくることで、県内における各包括支援センターの「質の標準化」を図り、権利擁護等についての社会福祉士の専門性向上を支援する。</p> <p>研修会を通じ、各圏域の地域包括支援センターが抱える課題について、圏域に所属する地域包括支援センター虐待対応者同士が身近な相談者となり、課題解決ができるようネットワーク形成を図る。</p>	
<p>【重点目標】</p> <p>県内における各包括支援センターの「質の標準化」を図り、権利擁護等についての社会福祉士の専門性向上を支援する。</p>	
事業計画	事業報告
1. 高齢者権利擁護事業	<p>1. 受託</p> <p>山口県から高齢者権利擁護推進事業を受託し、次の事業を実施した。</p> <p>(1) 専門的な業務相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談受付及び相談窓口の設置</li> <li>・権利擁護支援専門チームの派遣【派遣実績】10件</li> </ul> <p>(2) 高齢者虐待対応関係者研修会の開催</p> <p>【内容】高齢者虐待防止法に基づく通報受理、その対応における専門的視点及び技術の習得し、事例検討を行い、実践力の向上を図る。また、各市町の高齢者虐待対応関係者と情報交換し、ネットワーク形成の構築を図る。【開催日】11/20(月)【場所】山口県セミナーパーク【講師】板村憲作弁護士・上野綾乃社会福祉士【参加数】61名</p> <p>(3) 第1回虐待対応支援専門職チーム連絡協議会に参画</p> <p>【開催日】8/16【対象者】当会の障害者・高齢者権利擁護支援専門職チーム【本会出席者】2名</p>
2. 地域包括ケア専門職派遣システム構築事業	<p>1. 受託</p> <p>山口県から地域包括ケア専門職派遣システム構築事業を受託し、専門職派遣のための人材バンクの構築、相談及び専門職派遣調整窓口の設置、地域包括支援センター等からの要請に基づく専門職の派遣。</p> <p>【派遣実績】27件</p>
3. 住宅改修等点検に係る専門職派遣事業	<p>1. 受託</p> <p>介護給付適正化事業の主要5事業である「住宅改修等の点検」について、理学療法士、作業療法士の専門職派遣のための調整窓口を設置し、市町からの要請に応じて、各地域において登録した専門職を派遣し、市町単独では対応が困難な状況に対して、広域的かつ専門的な支援を行った。</p> <p>【派遣実績】4件</p>
4. 委員会を年3回開催	<p>1. 委員会を実施</p> <p>(1) 1回目</p> <p>【内容】高齢者虐待対応関係者研修の打ち合わせなど【開催日】7/25【場所】オンライン【参加数】7名</p> <p>(2) 2回目</p> <p>【内容】高齢者虐待対応関係者研修の打ち合わせなど【開催日】9/12【場</p>

	所】オンライン【参加数】8名 (3) 3回目 【内容】高齢者虐待対応関係者研修の打ち合わせなど【開催日】10/14 【場所】防府北地域包括支援センター【参加数】6名 (4) 4回目 【内容】高齢者虐待対応関係者研修の振り返りなど【開催日】1/16【場所】オンライン【参加数】6名
5. 日本社会福祉士会との連携・協力	1. アンケート調査などへの協力 2022年度の標準研修及び専門職チームに関する実績報告
6. 関係団体・機関との連携・協力	1. 高齢者虐待における個別ケース会議 【開催日】12/14【場所】岩国市保健センター【出席者】山本孝博  2. 行政・関係機関等への委員派遣 小野田市高齢者及び障がい者虐待防止協議会（豊嶋則子）
<b>■総括</b> 3年ぶりに集合にて高齢者虐待対応関係者研修が実施できた。対面実施ならではの、圏域を超えた活発な意見交換が行えた。また、今年度に国マニュアルが改定されたことの講義を板村弁護士にタイムリーにさせていただいたこと、包括支援センターの現場感覚を踏まえた上野副会長による事例検討が好評であった。 次年度も、現場で虐待対応に関わる関係者の実践力向上につながるような研修プログラムを検討したい。	

## ■委員会名：子ども権利擁護推進委員会

○担当理事：杉山美羽

○委員長：梅木幹司

○副委員長：讃井康一、橋本達哉

○委員：森永真里子、橋本嘉美

<b>【委員会設置目的】</b> 子どもの権利擁護のための相談体制事業を受託（予定）し、子どもの権利擁護体制を充実させるため、県が設置する社会福祉審議会等を活用し、県の実情に合わせた、児童養護施設等に入所する児童の意見表明を受けとめる体制づくりを検討・実践する。	
事業計画	事業報告
1. 意見表明支援員の配置	1. 意見表明支援員の配置 当委員会委員を意見表明支援員とするとともに、子どもアドボカシー基礎講座及び実践講座を修了者で登録要件を満たす方をアドボケイトとしての活動を希望する者を加えた。 <b>【アドボケイト登録者数】29名</b>
2. 訪問型アドボカシーサービスの仕組みづくり	1. 関係団体との連携 (1) 山口県弁護士会との連携 <b>【開催日】8/1【内容】子どもの権利擁護事業に関する情報交換会の開催【会場】山口県弁護士会【参加者】山口県弁護士会、県子ども家庭課、本会</b> (2) 県との連絡協議会 1) 第1回目 <b>【日時】4/27【形式】山口県社会福祉会館【内容】今年度の事業方針の検討・情報共有など。</b> 2) 第2回目 <b>【日時】10/3【形式】山口県社会福祉会館【内容】来年度の事業のたたき台について内容説明及び意見交換。</b> 3) 第3回目

	<p>【日時】 2/6 【形式】 山口県社会福祉会館 【内容】 来年度事業の説明、一時保護所への訪問体制について協議。</p>
3. 意見表明支援員の養成研修	<p>1. 子どもアドボカシー基礎講座の実施 【委託】 子どもアドボカシー学会に委託 【修了者数】 26 名</p> <p>2. 子どもアドボカシー実践講座 【修了者数】 21 名</p> <p>1 日目 【開催日】 12/9 【内容】 ①山口県の子どもの権利擁護に関する変遷と今後について（講師）本幡一貴（山口県こども家庭課児童環境班）②社会的養護を必要とする当事者の声（講師）児童養護施設等出身者③社会的養護施設の子どもの思いとどう向き合うか～児童養護施設に着目して～（講師）山口季音（至誠館大学）④アドボケイトの実際（演習①・出会いの場面、傾聴）（講師）福田みのり（山陽小野田市立東京理科大学）</p> <p>2 日目 【開催日】 12/10 【内容】 ①アドボケイトの実際（演習②・傾聴、意見表明支援）②アドボカシー葛藤とジレンマ（境界・利用者・多職種との関係性）③子どもをエンパワメントするためには（講師）全講座 福田みのり</p>
4. アドボカシーの周知・啓発	<p>1. 児童養護施設への事業説明 本事業の県担当者とともに、県内 13 児童養護施設の内、11 か所に訪問など行い、職員に向けて、本事業の説明や訪問型アドボカシー実施状況などの説明を行った。</p> <p>2. 児童相談所・一時保護所への事業説明 一時保護所への訪問を開始するにあたり、県担当者とともに、児童相談所及び一時保護所の職員に対し、事業説明や意見交換を行なった。</p> <p>（1）第 1 回目 【日時】 2/26 【形式】 山口県社会福祉会館 【内容】 来年度からの一時保護所入所児童への意見表明等支援の導入に向けた協議</p> <p>（2）第 2 回目 【日時】 3/6 【形式】 オンライン 【内容】 本事業の内容や活動状況、独立型アドボケイトについて説明し、意見交換を行なった。</p>
5. 訪問型アドボカシー相談	<p>1. 児童養護施設への訪問型アドボカシー実施 1 か所の児童養護施設に、月 1 回、アドボケイト 2 名程度を毎月派遣して実施した。【派遣回数】 64 回</p>
6. 報告書の作成	<p>1. 今後の方策の提案を盛り込んだ報告書を提出 事業実施結果や子どもの権利擁護体制充実に向けての報告書を提出した。</p>
7. 委員会の開催	<p>1. スーパーバイザーの設置 支援員は、定期的にスーパーバイザーからアドボカシーサービスに関連した対応について、指導や評価等を受ける。</p> <p>2. スーパーバイザーに同席いただき、本事業の遂行にあたり、オンラインで委員会を開催した。 第 1 回目 4/14、第 2 回目 5/17、第 3 回目 7/7、第 5 回目 9/22、第 6 回目 10/4、第 7 回目 11/1、第 8 回目 12/6、第 9 回目 1/10、第 10 回目 2/6、第 11 回目 3/6。</p> <p>3. 子どもアドボケイト定例会議を開催した。 委員会とは別に子どもアドボケイト登録者による訪問型アドボカシー</p>

	の振り返りや対応方法など、オンラインで会議を実施した。 第1回目 7/7、第2回目 9/6、第3回目 10/4、第4回目 11/4、第5回目 12/6、第6回目 1/10、第7回目 2/6、第8回目 3/6。
8. 日本社会福祉士会との連携・協力	1. 情報提供 都道府県士会において、本事業を県より受託して実施している会は、本会であることから、日本社会福祉士会や他都道府県士会からの問い合わせに対して情報提供を行った。
<b>■総括</b> 意見表明支援員の養成研修が修了し、29 名がアドボケイトとして登録していただくことができた。アドボケイトは会員有無、職種や職歴など多様であり、訪問アドボケイトの情報管理・派遣調整・記録管理・月1回の定例会議の運営・スーパーバイズ機能・質の担保など図ってきたが、今後、さらに、訪問する施設の拡大や一時保護所への訪問など、活動範囲が増えることから、運営・教育・管理面の整備が求められる。	

### (3) 公益事業部

事業方針にもとづき、公益事業部は次の事業を行う。

#### ■委員会名：権利擁護センターぱあとなあ山口委員会

○担当理事：安光洋平

○委員長：安光洋平

○副委員長：金江浩子、藤井哲治

○委員：小林大亮、河面英治、大野繁己、大野奈央子、深谷豊、越智尚史、池本恭子、西村陽子、田中英之、吉村直美

<b>【委員会設置目的】</b> 社会福祉の援助を必要とする山口県民が地域で自立した生活を送ることができるように、権利擁護並びに成年後見制度等に関する事業を行う。	
<b>【基本方針】</b> ○ 地域住民が抱える課題解決やニーズに応えるため、社会福祉士が身近な存在となるよう、社会福祉士の活動を広く地域住民に周知していくことができるように努める。 ○ 専門職として質の高い援助が提供できるよう、倫理意識の向上及び対人援助技術等の向上を目指す。 ○ 各圏域の活動を活性化し、会員同士の顔が見える関係をつくることで、相互に協力し支え合う組織づくりを目指す。 ○ 弁護士会等の職能団体や関係機関との協同、連携の強化に努める。	
<b>【重点目標】</b> 1 専門職として質の高い援助が提供できるよう、倫理意識の向上及び意思決定支援の下で本人のための財産管理・身上保護の取組の向上を目指す。 2 成年後見制度利用促進に向けた体制整備への協力。	
事業計画	事業報告
1. 権利擁護に関する相談事業	1. 権利擁護に関する相談事業の実施 (1) 本会事務局に相談窓口の設置 本会事務局に相談窓口を設置し相談対応。 (2) 無料相談会の開催 尾崎邦子氏寄付金活用事業として成年後見等無料相談会を防府、周南地区で定期開催。 1) 防府会場 【日時】平日の午前9時から午後5時(年末年始、お盆、GWを除く)【場所】合同会社結い後見事務所、相談者宅、福祉施設、行政機関等【主な相談内容】生活上の問題に関する相談、権利擁護(成年後見、任意後見、財産管理委任契約、虐待)に関する相談、福祉サービスの利用に関する相談【相談件数】計33件 2) 周南会場

	<p>【日時】毎月第1火曜日（5月、1月は第2火曜日）10:00～15:00</p> <p>【場所】ゆめプラザ熊毛第5会議室【主な相談内容】成年後見制度について、申し立てまでの一般的な流れの概要、成年後見制度において、後見人等のできる・できないこと、個別ケース支援における関連福祉制度と成年後見人の制度の効果の検討など【相談件数】計1件</p> <p>（3）高齢者・障害者出張相談へスタッフの派遣</p> <p>社会福祉士同行件数：0件</p>
2. 未成年後見人等・成年後見人等候補者の推薦に関する事業	<p>1. 成年後見人等候補者の推薦に関する事業を実施</p> <p>（1）後見人等の候補者の推薦</p> <p>山口家庭裁判所より後見人等の候補者照会依頼を受けた後、委員会において候補者を調整し適任者を推薦した。</p> <p>・推薦依頼件数 113件・受任件数 108件</p> <p>（2）会員の支援</p> <p>圏域委員により随時支援を実施。</p> <p>（3）名簿登録審査</p> <p>【開催日】5/30【形式】オンライン 今年度登録者数 109名</p> <p>（4）ぱあとなあ活動報告の提出</p> <p>活動報告システムを導入し、年2回（2月、8月）実施。</p> <p>（5）業務監査委員会の開催</p> <p>1）第19回業務監査委員会</p> <p>【開催日】6/22【形式】オンライン【出席者】業務監査委員3名、正副委員長</p> <p>2）第20回業務監査委員会</p> <p>【開催日】12/20【形式】オンライン【出席者】業務監査委員3名、正副委員長</p> <p>（6）相談・苦情受付窓口</p> <p>本会事務局に相談・苦情受付窓口を設置して対応。</p>
3. 研修等に関する事業	<p>1. 研修等に関する事業の実施</p> <p>（1）令和5年度成年後見人材育成研修</p> <p>受講者22名の推薦を行った。</p> <p>（2）名簿登録研修の実施</p> <p>【開催日】2/10【形式】集合【参加数】8名</p> <p>（3）名簿登録更新研修の実施</p> <p>【開催日】第1回目：1/27、第2回目：2/17、第3回目：3/14【内容】eラーニング講座「倫理綱領の必要性」を視聴したうえで、自身で倫理綱領の必要性を説明するにあたり、重要と考えられるキーワードを講義の中から3つ選ぶ。また、キーワードを選んだ理由をまとめる。</p> <p>（4）県内5圏域に分かれ、圏域ごとに勉強会の実施</p> <p>1）下関圏域</p> <p>① 1回目</p> <p>【内容】後見活動についてのおしゃべり【開催日】6/8【場所】オンライン【参加数】社会福祉士8名</p> <p>② 2回目</p> <p>【内容】事例検討と2023年民法改正相続登記の義務化【開催日】7/20【場所】オンライン【参加数】社会福祉士18名</p> <p>③ 3回目</p> <p>【内容】後見活動についてのおしゃべり【開催日】10/12【場所】オンライン【参加数】社会福祉士9名</p> <p>④ 4回目</p> <p>【内容】【事例検討】初受任から一カ月～近い将来、相続課題が起こりそうなケース～【開催日】11/15【場所】オンライン【参加数】社会福祉士16</p>



	<p>名</p> <p>⑤ 5 回目 【内容】【事例検討】住居用不動産の処分について【開催日】2/20【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 14 名</p> <p>⑥ 6 回目 【内容】第 3 回「名簿登録更新研修」【開催日】3/14【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 15 名</p> <p>2) 宇部圏域</p> <p>① 1 回目 【内容】情報交換【開催日】5/8【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 8 名</p> <p>② 2 回目 【内容】後見活動の流れ、情報交換など【開催日】7/10【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 12 名</p> <p>③ 3 回目 【内容】事例検討【事例提供者】安光あゆみ【開催日】10/23【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 12 名</p> <p>④ 4 回目 【内容】近況報告及び後見活動に関する情報提供、後見業務の困りごと、悩み事、なんでもシェア会【開催日】2/12【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 8 名</p> <p>3) 山口・萩・防府圏域</p> <p>① 1 回目 【内容】「相続財産（管理）清算人制度について」【開催日】6/16【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 29 名、弁護士 1 名</p> <p>② 2 回目 【内容/講師】成年後見人申し立ての手続きと注意点/濱田隆弘弁護士（中山・石村法律事務所）【開催日】10/20【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 30 名</p> <p>③ 3 回目 【内容/講師】持続可能な権利擁護支援/百田佐和子氏（山口市役所健康福祉部 高齢福祉課 成年後見センター）【開催日】2/16【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 19 名</p> <p>4) 周南圏域</p> <p>① 1 回目 【内容】障がい者就労支援を通して権利擁護を考える【講師】野原徹（社会福祉法人ふしの学園/ふしのエコ事業所）【開催日】5/26【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 18 名</p> <p>② 2 回目 【内容】周南圏域の災害避難支援について～情報提供と意見交換～【開催日】7/28【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 7 名、弁護士 1 名</p> <p>③ 3 回目 【内容】意思決定支援各種ガイドラインの活用法について【開催日】9/22【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 14 名</p> <p>④ 4 回目 【内容/講師】成年後見業務と住所・居所/通山和史弁護士、鬼木泰子【開催日】10/25【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 24 名</p> <p>⑤ 5 回目 【内容/講師】成年後見業務と郵便/通山和史弁護士、藤本稔【開催日】11/24【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 17 名</p> <p>⑥ 6 回目</p>
--	---

	<p>【内容/講師】周南圏域の中核機関の現状～弁護士・司法書士・社会福祉士それぞれの立場から～/通山和史弁護士、野村卓志氏、室本好重氏</p> <p>【開催日】2/16【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 18 名</p> <p>5) 岩国圏域</p> <p>① 1 回目</p> <p>【内容】後見業務なんでも相談カフェ【開催日】6/15【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 14 名</p> <p>② 2 回目</p> <p>【内容】「相続財産清算人制度等について」、「身寄りのない生活保護受給者の遺留金品等の取扱いについて」【開催日】11/2【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 25 名</p> <p>③ 3 回目</p> <p>【内容】第 2 回目「名簿登録更新研修」【開催日】2/17【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 20 名</p> <p>(5) ぱあとなあ全体会議を年 4 回開催</p> <p>1) 第 1 回全体会議【内容】2022 年度事業報告・決算報告【開催日】4/22【場所】オンライン【参加数】68 名</p> <p>②第 2 回全体会議【内容】第 19 回業務監査の報告、8 月定期活動報告について、「意思決定支援続編」【開催日】8/5【場所】オンライン【参加数】67 名</p> <p>③第 3 回全体会議【内容】2023 年度中四国ぱあとなあ連絡協議会について、事前報告書について、名簿登録研修について、名簿登録更新研修について「後見人のメンタルヘルス」【開催日】12/2【場所】オンライン【参加数】77 名</p> <p>④第 4 回全体会議【内容】第 20 回業務監査の報告、2 月活動報告書の提出について【開催日】2024 年 1/27【場所】オンライン【参加数】89 名</p>
4. 啓発事業に関する事業	<p>1. 啓発事業に関する事業の成年後見制度活用セミナー</p> <p>【内容】福祉専門職だからできること地域連携・意思決定支援【開催日】11/25【場所】オンライン【参加数】70 名</p>
5. 権利擁護に関する専門職団体、関係機関との連携に関する事業	<p>1. 日本社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあとの連携</p> <p>(1) 2023 年度 都道府県ぱあとなあ連絡協議会</p> <p>【開催日】10/29【形式】オンライン【内容】政策報告、地域における権利擁護支援の取組推進に向けて、グループにおける意見交換「重層的な権利擁護支援体制の構築に向けて～後見や虐待対応等に社会福祉士（会）が果たす役割」など【出席者】安光洋平、金江浩子、藤井哲治</p> <p>(2) 2023 年度都道府県士会体制整備支援連続勉強会に委員や成年後見利用促進チームが参加。</p> <p>1) 第 1 回勉強会</p> <p>【開催日】6/28【内容】国の検討状況及び本会の見解、都道府県士会における実践取組例【参加者】7 名</p> <p>2) 第 2 回勉強会</p> <p>【開催日】9/26【内容】、第二期成年後見制度利用促進基本計画に基づく国の検討体制の概要、国の最新の検討状況及び本会の見解、民法改正を中心とした協議状況について、民法改正を含む体制整備に向けて、社会福祉士や社会福祉士会に期待されること【参加者】6 名</p> <p>2. 弁護士会との連携</p> <p>(1) 連絡協議会の開催</p> <p>1) 第 1 回目</p> <p>【内容】「相続財産管理人→相続財産清算人」の変更点などについて【講師】岡田卓司（岡田法律事務所）【開催日】4/22【場所】オンライン【参加数】</p>



	<p>社会福祉士 65 名、弁護士 3 名</p> <p>2) 第 2 回目  <b>【内容】</b>「ハラスメント（特にカスタマーハラスメント）」<b>【開催日】</b> 8/5  <b>【場所】</b> オンライン<b>【参加数】</b> 社会福祉士 69 名、弁護士 2 名</p> <p>3) 第 3 回目  <b>【内容】</b>「後見業務に役立つ（かもしれない）相続と戸籍の基礎知識」<b>【開催日】</b> 12/2<b>【場所】</b> オンライン<b>【参加数】</b> 社会福祉士 68 名、弁護士 3 名  （2）日本弁護士連合会からの受任調整等に関するアンケート協力</p> <p>3. 法テラス地方協議会への出席  <b>【開催日】</b> 11/29<b>【場所】</b> 山口県教育会館<b>【出席者】</b> 藤井哲治</p> <p>4. 成年後見制度利用促進に関する連携  （1）協議会等への委員推薦  山口市権利擁護支援検討ワーキンググループ構成員（安光洋平）、光市成年後見制度利用促進協議会（室本好重）、山口市成年後見制度利用促進協議会（池永泰典）、宇部市成年後見センター受任調整会議（豊嶋則子）、防府市成年後見センター支援方針会議（讃井康一、瀧口コヅエ）、防府市成年後見センター運営協議会（讃井康一）、美祢市成年後見制度利用促進協議会（越智尚史、池永泰典、豊嶋則子）、下関市成年後見制度利用促進協議会（森清珠実、福本由美）、成年後見制度利用に係る受任調整会議（越智尚史、池本恭子、池永泰典）、長門市成年後見制度利用促進協議会（森清珠実）  （2）令和 5 年度成年後見制度利用促進体制整備研修（都道府県担当職員・アドバイザー向け研修）へ受講調整・派遣  <b>【受講者】</b> 讃井康一</p> <p>5. 中国・四国ブロックぱあとなあ連絡協議会への出席  <b>【開催日】</b> 11/5<b>【形式】</b> オンライン<b>【内容】</b> 制度利用促進法基本計画（1 期）の到着段階と（2 期）の取組について、報酬の基準・市町村利用支援事業・市長申立の現状、個人後見と法人後見について、研修実施体制についてーリアルと Web 併用について、後見人（会員）へのフォロー体制・日常の支援は、受任者不足のエリア対策・ネットワーク構築、公的責任は？、人材育成研修の現状について<b>【出席者】</b> 安光洋平、藤井哲治、金江浩子、池本恭子</p> <p>6. 家庭裁判所との連携  （1）家事関係機関との連絡協議会  1) 1 回目  <b>【開催日】</b> 12/4<b>【場所】</b> オンライン<b>【参加者】</b> 金江浩子<b>【内容】</b> 県内自治体の取り組み状況等、下関市・山口市における政権後見制度利用促進基本計画への取り組み状況等、グループ討議  2) 2 回目  <b>【開催日】</b> 1/31<b>【場所】</b> オンライン<b>【参加者】</b> 金江浩子  3) 3 回目  <b>【開催日】</b> 3/11<b>【場所】</b> オンライン<b>【参加者】</b> 安光洋平</p> <p>7. 県との連携  山口県成年後見制度利用促進協議会<b>【開催日】</b> 3/27<b>【場所】</b> オンライン<b>【参加者】</b> 安光洋平<b>【内容】</b> 成年後見制度の見直しの検討状況から考える人材育成の必要性について、日常生活自立支援事業の現状について</p>
--	--

6. 委員会・全体会議の開催（年 4 回）	1. 委員会の開催 年 4 回ばあとなあ山口全体会議前に、委員会員会議を開催し、全体会議の協議事項内容などについて検討した。
7. その他、権利擁護に関すること	1. 本会の他委員会との協働・連携 高齢者権利擁護推進委員会事業の権利擁護支援専門職チーム派遣に協力した。派遣実績回数 10 回、相談件数 10 件
8. 関係機関等への講師紹介	1. 関係機関等からの講師派遣依頼に対し、会員を紹介した。 【依頼元】松星苑育友会（第 1 しょうせい苑支部、第 2 しょうせい苑支部）【内容】「障害者の親なき後の対応」【紹介会員】池本恭子
<b>■総括</b> 計画していた事業は全て滞りなく終了した。啓発事業に関する事業の成年後見制度活用セミナーは近年開催できていなかったが、2023 年度は開催することができた。 成年後見受任件数は 600 件以上になり、年 2 回の活動報告書は、日本社会福祉士会の活動報告システムを導入したことで、報告書の管理・事務の効率化が図られた。 成年後見活動においては、受任件数は年々増加傾向であり、受任者数も微増であるが、組織及び活動が拡大しつつある中、今一度、本委員会に係る規程類を整備に取り組み、適切な後見活動を遂行できるサポート体制の構築が課題である。	

# **■委員会名：スクールソーシャルワーク委員会**

## **■委員会名：スクールソーシャルワーク委員会**

○担当理事：中村幸一郎

○委員長：道中朋子

○副委員長：藤田和博、藤井あゆみ

○委員：岡崎裕美、田村真由美、山中翔平

<b>【委員会設置目的】</b> 社会福祉の援助を必要とする山口県民の生活と権利を擁護するため、スクールソーシャルワークに関する事業を行う。	
<b>【基本方針】</b> 県の F R アドバイザーに登録される社会福祉士（S S W）の推薦をする。※令和 3 年度からは年度ごとに募集をせず、登録解除時のみ受付けする。 県内のいじめ問題に関する協議会や対策委員会、調査委員会、検証委員会等に会員を推薦する。 S S W の資質向上のための、①SSW 研修会（いじめの内容を含める）、②S S W 初任者等研修を県精神保健福祉士協会、他県社会福祉士会等と共同で開催する。また勉強会として③S S W 未来塾を実施する。 フードバンク山口及び株式会社アービングと連携して、貧困家庭への支援を展開する。 S S W の待遇確保のため、雇用条件等のアンケートを実施し、適切な機関へ情報提供する。 スクールソーシャルワークの実践を通して、子どもやその家族へ最善の支援を行っている。	
<b>【重点目標】</b> 定期的な研修や勉強会の開催により、会員の資質向上に努める。 <b>2</b> 子ども、保護者、学校、教育委員会など関係機関からのクレームに対して早期に対応し、不適切な支援についての指導とスキル向上のための支援を行い、関係の改善と信用の向上に努める。 <b>3</b> フードバンク山口及び株式会社アービングと連携し、貧困家庭への支援の実績を積む。	
事業計画	事業報告
・現任者への研修の企画・運営	1. 現任者への研修の企画・運営 （1）初任者スクールソーシャルワーカー等オンライン研修 【開催日】5/20～5/21 【場所】オンライン 【参加数】約 71 名（内、所属会員 1 名）【内容】1 日目）1. あいさつ、2. 行政説明：SSW 活用事業の

	<p>動向（文科省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室担当者）、3. スクールソーシャルワーカー資質向上指標①県内全域活用の実績（山口県SSWスーパーバイザー）、4. スクールソーシャルワーカー資質向上指標（名古屋市立大学准教授）、5. 名古屋市におけるスクールソーシャルワーカーのキャリアラダー、6. 振り返りと情報共有</p> <p>2 日目）1. 法テラスの使い方と子ども支援（法テラス本部常勤弁護士）、2. 児童相談所の実績と連携の視点（東京都区内児相主任）、3. 不登校事例紹介（群馬県安中市SSW）、4. いじめ対応事例紹介（静岡県富士市SSW）</p> <p>（2）県教主催「県FR・SSW連絡会議（県教委との共同企画）」</p> <p>【開催日】7/20【場所】山口県庁【内容】①所管説明②講義・事例検討「面接場面の観察」中村幸一郎（県SSW/主任）③情報交換会（各市町の取組について、報告・質疑応答）</p> <p>（3）未来塾</p> <p>【開催日】9/17【場所】オンライン【参加数】6名【内容】「お互いを知ろう！」</p> <p>新任のSSWを対象に、それぞれの支援の現状を共有した。</p> <p>（4）SSW研修</p> <p>【開催日】2/25【場所】山口県セミナーパーク【参加数】9名【内容】1. オリエンテーション、2. 「SNS いじめの現状」山本康嗣（山口県警察本部/生活安全部少年課/課長補佐）、3. 「対人援助の普遍的次元～対話へのプロローグ～」原田雅史（臨床心理士・公認心理師）4. 連絡事項、情報交換、閉会挨拶</p>
2. 苦情・要望の受付窓口	1. なし
3. 精神保健福祉士協会のSSW担当部局との連携	1. 研修は県精神保健福祉士協会との共催。山口県SSWメーリングリストにて、SSW名簿を共有した。
4. その他、SSW事業に関わること	<p>1. 委員会の開催</p> <p>（1）1回目</p> <p>【内容】来年度の事業計画について【開催日】2/25【場所】山口県セミナーパーク【参加数】6名</p> <p>2. 山口県いじめ問題対策協議会「ネットワーク会議」への出席</p> <p>【開催日】6/1【場所】県庁【出席者】藤井あゆみ【内容】県教委におけるいじめの防止等に向けた取組について、各機関・団体におけるいじめの防止等に向けた取組について</p> <p>3. 山口県いじめ問題対策協議会への出席</p> <p>【開催日】11/2【場所】県庁【出席者】藤井あゆみ【内容】県内のいじめの現状と対応について、各機関・団体におけるいじめ防止等に向けた取組について、各機関・団体における実効的な連携の在り方について</p>
5. 関係機関等との連携・協力	<p>1. 各種委員等へ会員推薦</p> <p>関係機関等からの各種委員等の推薦依頼に対し、会員を推薦した。</p> <p>宇部市いじめ問題調査委員会（山中将平）、光市いじめ問題調査委員会（岡崎裕美）、岩国市いじめ問題調査委員会（藤田和博）、山口市いじめ問題調査委員会（上野綾乃）、岩国市いじめ調査検証委員会（藤本真樹）</p>
6. 日本社会福祉士会との連携・協力	1. 2023年度スクールソーシャルワーク実践アドバイザー研究交流会へ会員を派遣

	【開催日】3/17【形式】オンライン【内容】実践報告、グループ討議（自県における組織的な課題や工夫について）【参加会員】岡崎裕美
<p>■総括</p> <p>新メンバーになって迎えた 2023 年度。みなさまのおかげをもちまして、事業を計画通り実施することができました。ありがとうございます。</p> <p>また、久しぶりに集合研修を実施することができました。普段、県内各地で活動されているみなさまと直接会ってお話することはなかなか難しいことです。マスク越しではありましたが、集合研修の醍醐味や充実感を感じていただけていたら嬉しいです。</p> <p>2024 年度も SSW のみなさまが横のつながりを感じることができ、お互いに手を取りあうことができる事業を展開できればと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>	

## ■委員会名：キャリア教育推進委員会

○担当理事：山中将嗣

○委員長：則近あゆみ

○副委員長：西野宏美

○委員：吉本暁子、尾中未来、西依毅志、佐伯美由紀、岡村僚太、木原久美

<p>【委員会設置目的】</p> <p>次世代・後継者育成の強化等に関する事業を行う。</p>	
<p>【基本方針】</p> <p>次世代育成の取組み強化として、①子どもへの働きかけ推進、②養成施設への働きかけ・連携の強化、③資格取得支援の推進を行う。</p> <p>後継者育成の強化として、社会福祉士実習指導者の養成・支援を行う。現指導者の資向上のためのフォローアップを行い、質の高い実習指導の提供に寄与していく。</p>	
<p>【重点目標】</p> <p>1 次世代育成を目的とし、職能や会の魅力発信を行う。県内養成校との連携強化を図るため、ブロックと協働し身近な社会福祉士から発信できるようにする。</p> <p>2 後継者育成を継続的に進めるよう、実習指導者養成を行い、県内養成校の学生が多く施設で実習できるよう、指導者の増員・確保を目指す。現指導者のスキルアップ、フォローアップを実施し、質の向上及び実習指導へのモチベーションアップを図る。</p>	
事業計画	事業報告
1. 子どもへの働きかけ	1. ふくしの寺子屋授業開催（コネクト・ワンさんと共催） 【内容】医師によるいのちの授業、5 名のゲストスピーカーから社会福祉士の仕事の魅力・やりがいなどの話。子供たちとの交流【開催日】2/16 18 時半～20 時【形式】オンライン【参加者】18 名（高校生、大学生、一般）
2. 会の意義・入会の意義・会の魅力やソーシャルワークの実践事例を発信する。	1. 山口県立大学、YIC 介護福祉専門学校にて、会の意義・入会の意義・会の魅力やソーシャルワークの実践事例の発信。 （1）山口県立大学への PR 【開催日】10/11【場所】山口県立大学 2 号館 B401 教室【対象者】2 年生【参加数】約 100 名【対応者】辻中浩司、則近あゆみ、山中将嗣 （2）YIC 看護福祉専門学校 本会への入会案内を送付。 （3）萩至誠館大学への PR 【開催日】11/28【形式】【対象者】1～3 年生【場所】至誠館大学【対応者】辻中浩司、松田友也、谷井美佐子
3. 山口県立大学等の実習連絡会議へ出席	1. 山口県立大学の実習報告会連絡会議へ出席 【開催日】11/30【場所】山口県立大学【対応者】則近あゆみ

4. 社会福祉士実習指導者フォローアップ研修の開催。	<p>1. 社会福祉士実習指導者フォローアップ研修として「新社会福祉士養成カリキュラムにおける実習プログラミング研修」の開催  <b>【開催日】</b> 7/22(土)13:00～17:00 <b>【会場】</b> 山口県立大学 <b>【内容】</b> 講義：新社会福祉士養成カリキュラムにおける実習プログラミング論、演習：実習プログラミング <b>【講師】</b> 添田正揮（日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科/准教授） <b>【参加数】</b> 41 名（内、会員 31 名）</p> <p>2. 社会福祉士実習指導者講習会  <b>【開催日】</b> 10/22 9:45～18:00、108¥/29 9:00～17:15 <b>【内容・講師】</b> 「実習指導概論」内田充範（山口県立大学/社会福祉学部/教授）、「実習マネジメント論」：尾中未来（済生会山口地域ケアセンター居宅介護サービス 複合施設には苑・特別養護老人ホームには苑/副施設長）、「実習プログラミング論」上野綾乃（防府北地域包括支援センター/センター長）、「実習スーパービジョン論」梅木幹司（至誠館大学/現代社会学部/教授） <b>【参加数】</b> 52 名</p>
5. 社会福祉士全国統一模擬試験の実施	<p>1. 社会福祉士全国統一模擬試験の実施  <b>【開催日】</b> 10/1(日) <b>【形式】</b> 会場受験（山口県立大学）、在宅受験 <b>【参加者】</b> 一般 9 名、学生 95 名</p>
6. 委員会の開催	<p>1. 委員会の開催  (1) 第 1 回目  <b>【内容】</b> フォローアップ研修会、今年度の活動について <b>【開催日】</b> 6/8 <b>【形式】</b> オンライン  (2) 第 2 回目  <b>【内容】</b> 講師とのフォローアップ研修の打ち合わせ <b>【開催日】</b> 7/10 <b>【形式】</b> オンライン  (3) 第 3 回目  <b>【内容】</b> フォローアップ研修の打ち合わせ <b>【開催日】</b> 7/19 <b>【形式】</b> オンライン  (4) 第 4 回目  <b>【内容】</b> 実習指導者講習会、社会福祉士 P R 活動の打ち合わせ <b>【開催日】</b> 9/27 <b>【形式】</b> オンライン  (5) 第 5 回目  <b>【内容】</b> ふくしの寺子屋授業の打ち合わせ <b>【開催日】</b> 2/2 <b>【形式】</b> オンライン</p>
7. 日本社会福祉士会との連携	<p>1. 2023 年度 都道府県社会福祉士会実習指導担当者会議へ参加  <b>【開催日】</b> 12/3 <b>【形式】</b> オンライン <b>【内容】</b> 実習指導者講習会に係る事項の連絡、都道府県社会福祉士会の意見の集約及び課題の協議 <b>【出席者】</b> 則近あゆみ、山中将嗣</p>
<p>■総括</p> <p>今年度は感染対策を取りつつ、これまでオンラインで実施していた実習指導者フォローアップ研修会や指導者講習会を参集形式で行うことができ、参加者同士の交流が図れたのではないかと感じている。指導者講習会に関しては、実習指導カリキュラムが改定になったことが影響してか、募集定員を上回る申込があり、残念ながら参加をお断りをした方がいたため、隔年開催としていたが次年度も開催を検討している。</p> <p>また、養成校への P R 活動についても、山口、萩、周南と圏域をまたぐため、引き続き各ブロックとの連携を取りながら対応していく予定。</p> <p>寺子屋授業も好評のうちに実施することができたが、ゲストスピーカーの調整が苦慮するところである。今年度は N P O 法人コネクト・ワンのご尽力で過半数のゲストスピーカーの調整を頂いた。定例活動になっているため、ゲストスピーカーに同分野での次年度のゲストスピーカーの人選を頼むなどの検討が必要と思われる。</p>	

■委員会名：司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備会

○担当理事：山本孝博

○委員長：讃井康一

○委員：遠藤嵩大、富海隆、橋本嘉美、大田純子

【準備会設置目的】 養成機関立ち上げに向けて必要なニーズ把握及び組織体制について検討する。	
【基本方針】 ○ 関係機関との協議 ・ 会員へのニーズ及び実態把握、意見交換等 ○ 社会福祉士会内における準備 ・ 会員に対して行うこと⇒会員のニーズ及び実態把握・意見交換等 ・ 事務局及び理事会に対して行うこと⇒立ち上げる組織の仕組み、運用の検討等	
事業計画	事業報告
1 準備検討会 司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた組織及び運営体制の検討、理事会への提案。 (2) 司法ソーシャルワーカーの機能や役割について運営委員の共通理解をはかる。	1. 準備検討会の実施 (1) 第1回目 【内容】養成機関立ち上げに向けた検討【開催日】4/26【形式】オンライン【出席者】4名 (2) 第2回目 【内容】養成機関立ち上げに向けた検討、会員向け研修の準備【開催日】5/31【形式】オンライン【出席者】5名 (3) 第3回目 【内容】養成機関立ち上げに向けた検討、会員向け研修の準備【開催日】7/26【形式】オンライン【出席者】4名 (4) 第4回目 【内容】養成機関立ち上げに向けた検討、会員向け研修の準備【開催日】8/30【形式】オンライン (5) 第5回目 【内容】研修・来年度の活動計画の打ち合わせ【開催日】10/6【形式】オンライン【出席者】4名 (6) 第6回目 【内容】研修・来年度の活動計画の打ち合わせ【開催日】11/7【形式】オンライン【出席者】5名 (7) 第7回目 【内容】研修の振り返り・来年度の活動計画の打ち合わせ【開催日】12/12【形式】オンライン
2 関係機関との連携 (1) 山口県弁護士会との意見交換 司法・福祉領域の実情やニーズのほか今後の展望等について意見交換を通じて、具体的な組織、運営体制の検討を進める。 (2) 四会連携運営会議への参加 各会の取り組み状況及び各会の司法ソーシャルワーカーに対するニーズ等の把握し、具体的	1. 四会連絡協議会に出席 本会、山口県弁護士会、山口県精神保健福祉士協会、山口県地域生活定着支援センター(山口県社会福祉協議会)の合同会議 (1) 第50回合同会議 【開催日】9/5【形式】オンライン【内容】各団体の取り組み状況の報告、研修の打ち合わせ【参加者】遠藤嵩大 (2) 第51回合同会議 【開催日】10/3【形式】オンライン【内容】研修の打ち合わせ【参加者】遠藤嵩大 2. 四会合同研修会の開催 【開催日】2/8、10時～16時20分【場所】山口県セミナーパーク【内容】「罪に問われた障害者・高齢者の支援に携わる福祉関係者のための四会合同研修会～他職種でつなぐ支援の輪」 3. 山口県再犯防止推進計画策定委員会の委員を推薦



な組織、運営体制の検討を進める。	<p>【内容】再犯防止の課題及び必要な施策についての検討【開催日】9/7【出席者】讃井康一</p> <p>4. 地域生活定着支援センター協議会に出席 第1回【開催日】9/7【出席者】讃井康一、第2回【開催日】3/14【出席者】讃井康一</p> <p>5. 令和5年度やまぐち再犯防止推進ネットワーク協議会に出席【開催日】1/15【出席者】讃井康一【内容】国県概況報告、取組発表</p>
3 会員に対する活動状況の報告及び研修の実施	1. 研修会の開催 【開催日】11/18(土)【場所】防府市文化福祉会館【参加者数】9名【内容】「司法プロセスへの社会福祉士の関わりについて学ぶ」(講師) 富海隆
4 日本社会福祉士会との連携・協力	1. リーガル・ソーシャルワーク研修移管研修説明会 【開催日】8/26【形式】オンライン【参加者】讃井康一
	2. 司法福祉に関するアンケート調査に協力
<p>■総括</p> <p>次の事項などについて実施し、ソーシャルワーカーの機能や役割について運営委員の共通理解を図りながら、来年度から一般相談受付開始に向けて、司法ソーシャルワーク委員会の設置について提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>委員会の名称変更</u> 来年度からの事業開始(一般相談等)にともない委員会の名称変更について協議した。</li> <li>・ <u>一般相談</u> 当事者、病院、施設、行政、定着、弁護士、検察等を対象に、社会福祉士の視点で相談に応じる(当事者へのかかわり方、支援のあり方、社会資源やネットワークに関する相談、情報提供等)相談対応の詳細について、来年度からの実施に向け、検討した。</li> <li>・ <u>リーガルソーシャルワーク研修の実施</u> 司法福祉領域に興味関心のある会員及び支援に携わる関係機関等を対象とした研修会を開催した。</li> <li>・ <u>関係機関との連携</u> 協定書に基づき、四会連絡協議会や関係機関との連携協力を行った。</li> </ul>	

#### ■委員会名：スーパービジョン委員会

○担当理事：尾中未来

○委員長：橘康彦

○委員：伊藤孝司、橋本達哉、讃井康一、鬼木泰子、須原志保

<p>【委員会設置目的】</p> <p>認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進に関する事業を行う。</p>
<p>【基本方針】</p> <p>認定社会福祉士認証・認定機構が定める「認定社会福祉士制度スーパーバイザー実施要綱」に基づき、本会所属会員が本会を介してスーパービジョンを実施する際のサポートを行う。対象は、認定社会福祉士及び認定上級社会福祉士の取得及び更新を目的として実施するスーパービジョンに限らない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) バイザー名簿の作成及びバイジーへのバイザー情報提供</li> <li>2) スーパービジョン仮申し込み及び本申し込み受付</li> <li>3) バイザーとバイジーのマッチング</li> <li>4) スーパービジョンに係る経費の請求・受領及び支払、受講管理</li> <li>5) スーパービジョンの進捗状況の把握</li> <li>6) バイザー、バイジーの相談及び苦情対応</li> </ol>

7) バイザー、バイジーへの助言・指導 8) バイザーのスキルアップ 9) バイザー、バイジーのフォローアップ体制の構築 10) その他バイザー及びバイジーからの申し出に対する事務処理等 11) 認定社会福祉士の資格取得支援の推進 (12) その他本委員会設置目的に合致する事項	
事業計画	事業報告
1 委員会の開催 定期的、且、必要に応じて 委員会委員会議を開催して、 次のことを行う。 ・バイザーとバイジーのマッ チング・スーパービジョンの 進捗状況の把握・バイザー、 バイジーの相談及び苦情対 応・バイザー、バイジーへの 助言・指導・バイザー、バイ ジーのフォローアップ体制の 検討・その他バイザー及びバ イジーからの申し出に対する 事務処理等・（定期開催日時） 4、7、10、1月 2. スーパービジョンに係る 事務処理	1. 委員会を開催した。 (1) 1回目 【開催日】4/18【形式】オンライン【内容】スーパービジョンの進 捗状況の把握【参加者】6名 (2) 2回目 【形式】メール【内容】スーパービジョンのマッチング【参加 者】7名 (3) 3回目 【開催日】7/20【形式】オンライン【内容】スーパービジョンの進 捗状況の把握【参加者】6名 (4) 4回目 【開催日】1/15【形式】オンライン【内容】スーパービジョンの進 捗状況の把握、来年度の事業計画【参加者】5名 2. スーパービジョンに係る事務処理 本会事務局で、必要な事務処理を行った。
3. 日本社会福祉士会との連 携・協力	1. 2023 年度新スーパーバイザー養成研修 【開催日】9/9、9/10【場所】機械振興会館（東京都港区）【参 加者】池本恭子 2. アンケート調査などへの協力 グループスーパービジョンの実施に関するアンケート
<b>■総括</b> スーパービジョンのマッチング 2 件を行い、定例委員会議を開催して、進捗状況の把握及 び報告など行なった。報告には、スーパーバイザーが「スーパービジョン機能表」も活用し て実施した。 日本社会福祉士会が開催する施行研修「スーパーバイザースキルアップ研修会」に、委員 2 名を会長推薦及び受講者推薦事業より補助を受け派遣した。受講者推薦事業の活用する事 業計画・予算確保及び復命処理の手続きに関する課題があった。	

#### (4) 総合企画部

事業方針にもとづき、総合企画部は次の事業を行う。

○部会長：藤本真樹

○担当理事：越智尚史、佐藤義浩、神田陽子、高木裕美、秋田将利

##### 【委員会設置目的】

社会情勢の変化に伴い社会福祉及び介護を取り巻く状況の変化に応じて、職能団体として  
 取り組むべき課題を抽出し必要な事業を推進することで、社会福祉士としての専門性の維  
 持・向上を図り、また倫理綱領に基づいた相談援助活動が行えるように必要な知識、技術の  
 専門性と倫理性を常に向上させるとともに、社会福祉の援助を必要とする県民の生活と権利  
 の擁護及び社会福祉の増進に寄与する。

##### 【基本方針】

第一期中期計画の基本方針に基づき、目標の達成を見据えた事業展開を行う。



【重点目標】	
本年度も引き続き、第一期中期計画の目標の達成を見据え、一つ一つできることから取り組むとともに、実施状況の評価を行う。	
事業計画	事業報告
<p>1 組織基盤の整備・強化を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) 強い組織化</p> <p>1) 本会や社会福祉士へのニーズに応える事業の推進①第一期中期計画の実施状況の評価を行う。②重点目標を設定する。③第二期中期計画の検討を行う。</p> <p>2) 会員数の増加①会員数750名を目標に、ブロック活動部の協力を得て、ブロック単位で新入会員獲得目標を掲げて入会促進を図る。</p> <p>3) 会員参加の法人運営の推進</p> <p>(2) 会員支援の整備・強化</p> <p>綱紀案件対応の整備①本会独自の綱紀案件対応システム構築に向けての継続検討。</p> <p>(3) 事務局体制の強化研修に係る作業の効率化を図る。</p>	<p>1. 組織基盤の整備・強化に向けた取り組み</p> <p>(1) 第一期中期計画の実施状況の評価及び第二期中期計画の検討</p> <p>【開催日】11/14【場所】オンライン</p> <p>(2) 会員数750名へ</p> <p>ブロック活動部に協力依頼を行った。</p> <p>(3) 企画チームによる事業</p> <p>1) 第28回定時社員総会時の講演会</p> <p>【テーマ】「倫理綱領の必要性や理解を深めよう」【講師】梅木幹司（至誠館大学 現代社会学部 現代社会学科/教授）【開催日】6/24【場所】山口県教育会館／オンライン【参加数】27名</p> <p>2) 第29回定時社員総会時の講演会</p> <p>【テーマ】ジェネラルな視点を持つソーシャルワーカー【講師】「地域アセスメントとネットワーク構築」「社会資源の活用・開発」藤本真樹（山口県社会福祉士会/副会長、NPO法人コネクト・ワン/代表 ギャップ・フィリング株式会社/代表）、「地域で支える体制の構築」</p> <p>「排除を作らない相談支援体制の構築」上野綾乃（山口県社会福祉士会/副会長、防府北地域包括支援センター/センター長）【開催日】3/23【場所】山口県セミナーパーク／オンライン【参加数】61名（内、オンライン49名）</p> <p>3) 独立型社会福祉士実践報告会&amp;情報交換会</p> <p>【内容・講師】「独立してからの歩み」瀧口コジエ（ケアプランセンターえびすや/社長）、フリートーク「独立している社会福祉士さんとのフリートーク」【開催日】3/29【場所】防府市文化福祉会館【参加数】15名</p> <p>4) 広報の検討</p> <p>広報の発信方法を紙媒体から電子的発信に変更した。</p> <p>(4) 本会独自の綱紀案件対応システムの構築</p> <p>未実施であった。</p> <p>(5) 研修に係る作業の効率化</p> <p>申し込みはフォームのみで受付することにより、事務作業の煩雑さを軽減。</p>
<p>2. 権利擁護及び地域福祉の増進を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) ブロック活動部の強化</p> <p>1) 活動量の最低水準化</p> <p>2) 地域に即した活動の強化</p> <p>3) 会員ファーストの活動重視として、ブロック活動への非会員からの参加費の徴収を継続。</p> <p>4) 計画に応じた財源導入</p>	<p>1. ブロック活動部の強化</p> <p>計画に応じた財源導入を図り、ブロック活動の活性化を図った。</p> <p>(1) 全ブロックにて、新入会員歓迎会などの開催</p> <p>山口市・美祢市ブロック、防府市ブロック、山陽小野田市ブロック、下関市ブロックで開催。</p> <p>(2) 全ブロックにて、オリエンテーションの開催</p> <p>下関市ブロック、山陽小野田市ブロック、萩市・長門市・阿武町ブロック、周南市・下松市・光市ブロックで開催。</p> <p>(3) 会員数750名へ</p> <p>各ブロックで新入会員の目標数を設定して、会員数750名を目指した。</p> <p>(4) 総合企画部との合同会議を開催</p> <p>【開催日】11/18（土）【方法】オンライン【内容】来年度のブロック</p>

<p>の意識化として必要な財源を投資し、ブロック活動の活性化を図る。</p> <p>(2) 公益事業部の強化・拡充</p> <p>1) 災害支援事業の推進</p> <p>①会報や会員のしおりを通して、災害対応ガイドライン及びマニュアルの周知。②災害支援協力員の募集継続。</p>	<p>活動計画について、非会員の参加費徴収について、各ブロックとブロック担当理事との連携について、第二期中期計画に向けた組織体制について、ブロック活動の流れについて、事業計画と予算の提出について</p> <p>2. 公益事業部の強化・拡充</p> <p>(1) 司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備委員会設置</p> <p>詳細は、司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備会を参照。</p> <p>(2) 災害支援に関する取組</p> <p>1) 災害支援活動協力員の募集継続</p> <p>【内容】会報などで災害支援協力員を募集。登録者には、名簿登録者専用のメーリングリストを設置し、災害支援に関する情報を提供【災害支援活動協力員登録者】9名</p> <p>2) 他団体機関との連携</p> <p>3) 山口県災害派遣福祉チームへの参画</p> <p>4) 8/26、通常理事会前に、県厚政課より山口県の DWAT の取り組みについての説明を受けた。</p> <p>5) 山口県災害派遣福祉チーム員に会員を推薦</p> <p>第1期コアメンバー【推薦会員】藤本真樹</p>
<p>3 専門性の向上を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) キャリアアップ体制の強化</p> <p>1) 生涯研修の普及・推進</p> <p>(2) 専門的・実践能力の向上</p> <p>1) 地域共生社会の実現に資する体制構築を推進するソーシャルワークの機能を発揮できる実践能力の強化</p> <p>2) 実践研究・実践報告の推進①基礎研修Ⅱ・Ⅲ「実践評価・実践研究系科目」の部分受講の受け入れ実施。</p> <p>3) e-ラーニングの普及・活用の推進</p> <p>(3) 認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進</p> <p>1) 基礎研修の促進・充実</p> <p>2) 認定社会福祉士の資格取得支援の推進①基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの開催</p>	<p>1. 生涯研修の普及・推進</p> <p>(1) 生涯研修制度の周知</p> <p>会報や会員のしおりを通して、生涯研修制度を周知。</p> <p>(2) 企画運営への活動率の向上</p> <p>4つの企画チームを立ち上げて、企画チームの企画運営に担う会員を募集。</p> <p>【本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照】</p> <p>2. 専門的・実践能力の向上</p> <p>(1) 独立型社会福祉士実践報告会の開催</p> <p>【本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照】</p> <p>(2) e-ラーニングの普及・活用の推進</p> <p>日本社会福祉士会のe-ラーニング事業にかかる本会に所属する正会員が視聴する際の費用を本会が負担し、会員に自己研鑽の機会を提供。</p> <p>3. 認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進</p> <p>(1) 基礎研修の開催</p> <p>e-ラーニング、オンライン、会場形式と、研修効果が最大限得られる形式で、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを開催。</p> <p>【参加数】基礎研修Ⅰ：25名、基礎研修Ⅱ：16名、基礎研修Ⅲ：11名</p> <p>(2) 受講者の獲得</p> <p>基礎研修Ⅰの受講料を2022年度以降入会者につき5000円引きで設定。</p> <p>(3) 基礎研修に係るファシリテーター要請・育成</p> <p>ファシリテーターは配置せず、取り組む。</p> <p>(4) 認定社会福祉士の資格取得支援の推進</p> <p>1) e-ラーニング導入及びオンラインの使用</p> <p>基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの講義部分にe-ラーニングを導入するとともに</p>

	<p>に、集合形式の内容はオンラインと集合で実施。</p> <p>2) スーパービジョン準備実施研修 未実施</p>
<p>4 発信力の強化を図るため、次の事業を進める。</p> <p>1) 情報発信の強化</p> <p>1) 会報 Joy' n、ホームページ、LINE や Facebook など情報発信の内容などを検討して、広報の強化を図る。新</p> <p>2) 定期的に情報発信(年5回(5月末、7月末、9月末、11月末、2月末)を行う。</p> <p>(2) 社会的認知度の向上</p> <p>1) 社会福祉士人材バンク制度の普及啓発。</p>	<p>1. 広報検討の企画チームの設置 【本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照】</p> <p>2. 会報 Joy' n の発行 会報 Joy' n を年5回(5月末、7月末、9月末、11月末、2月末)発行し、会活動の周知とともに、会員の会活動への参加促進を図った。【発行番号、発行日】①会報 Joy' n 第35号(5月27日発行) ②会報 Joy' n 第36号(7月28日発行) ③会報 Joy' n 第37号(9月29日発行) ④会報 Joy' n 第38号(11月30日発行) ⑤会報 Joy' n 第39号(2月21日発行)</p> <p>3. 本会会員の人材バンク登録制度 会報、ホームページや会員のしおりを通して、人材バンク登録者を募集。【登録者数】3名</p> <p>4. 後援承諾 関係機関などからの後援申請に対して承諾することで、関係機関との連携強化及び当会の社会的認知度の向上を図った。 第21回「法と福祉のセミナー」(萩・長門法律相談センター運営委員会)、令和5年度山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会(令和5年度山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会)、特別講演会(ELC 山口)、令和5年度「介護の日」記念イベント((一社)山口県介護福祉士会周南ブロック)、こころの健康・メンタルヘルス講演会(NPO 法人周南さわか会)、法テラスワンストップ相談会 in 山口(日本司法支援センター)、第20回山口県ケアマネジメント研究大会(山口県介護支援専門員協会)、NPO 法人とりで第7回子育て講演会(特定非営利活動法人とりで)、こども食堂とこどもの居場所「子どもまんなかフォーラム」(山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワーク)、教育講演会「不登校と多様な学びについて考える」(フリースクールさなぎ)、山口県(第5回 山口県 認知症カフェ サミット)、特別研修会(山口県老人福祉施設協議会、山口県デーマーサービスセンター協議会、山口県訪問介護事業所連絡協議会)、令和6年度福祉のしごと・保育のしごと就職フェア(山口県社会福祉協議会)、令和5年度山口県こども食堂スキルアップ研修(山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワーク)</p>
<p>5 ネットワークの構築・強化を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) 会員相互の交流促進</p> <p>1) ネットワークリストの普及・拡大。2) LINE 公式アカウント及び Facebook を用いて情報発信。3) ブロック活動部の活動強化を図る。新</p> <p>(2) 行政との連携</p> <p>1) 各種委員等へ会員を推</p>	<p>1. 社会福祉士人材バンク登録制度の普及・拡大 【本部会報告「事業計画4の報告3」を参照】</p> <p>2. ネットワークリストの普及・拡大 やホームページで周知し登録者を募集。【登録者数】184名</p> <p>3. LINE 公式アカウントの開設 公式アカウントを開設して、情報を発信。</p> <p>4. 各種委員等へ会員推薦 関係機関等からの各種委員等の推薦依頼に対し、会員を推薦した。(委員会事業に係る協議会等に関しては、各委員会欄に</p>

<p>薦する。</p> <p>(3) 山口県内のソーシャルワーカー関係団体との連携強化</p> <p>1) 年2回程度の連絡協議会への参画。2) ソーシャルワーカーデーイベントを共催開催。</p> <p>(4) 県内のソーシャルワーカー関係団体以外との連携</p> <p>1) 協定書に基づき、権利擁護センターぱあととあ山口と山口県弁護士会の高齢者障害者権利擁護センターとで協働事業を行う。2) 四会連絡協議会への参画。3) 研修開催においては、積極的に後援申請を行う。4) 各種連絡会等への会員派遣。</p> <p>(5) 県外のソーシャルワーカー関係団体との連携</p> <p>1) 日本社会福祉士会との連携強化①日本社会福祉士会主催研修や会議等への会員の推薦・派遣。②日本社会福祉士会の生涯研修センター及び各種委員会等との連携・協力。③網紀案件事務委託契約の締結。2) 中国ブロック県士会との連携強化①中国ブロック会議への出席。②協定に基づき、基礎研修ⅠⅡⅢ振替受講の受け入れ実施。</p>	<p>記載)</p> <p>DV 被害者自立支援ネットワーク山口 (杉山美羽)、第73回社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～山口県推進委員会 (橘康彦)、宇部市高齢者福祉計画審議会、地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営委員会 (神田陽子)、周南市地域自立支援協議会定例協議会 (岡崎裕美)、山口県介護人材確保対策協議会 (山高正義)、山口県日常生活自立支援事業の契約締結審査会 (安光洋平)、山口県災害派遣福祉第1期チーム員コアメンバー (藤本真樹)</p> <p>5. 各協議会等へ会員出席</p> <p>関係機関等からの会議出席依頼に対し、会員が出席した。 (委員会事業に関係する協議会等に関しては、各委員会欄に記載)</p> <p>法テラスワンストップ相談会 in 山口 (上野綾乃、橘康彦)、令和5年度やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議 (上野綾乃)、令和5年度山口県介護労働懇談会 (辻中浩司)、山口県介護保険関係団体連絡協議会 (辻中浩司)</p> <p>6. 関係機関等への講師紹介</p> <p>関係機関等からの講師派遣依頼に対し、会員を紹介した。 高齢者虐待対応研修会 (依頼元: 周南市、派遣会員: 橘康彦)、社会福祉士の活動と社会福祉士から見た犯罪被害者等支援について (依頼元: 公益社団法人山口被害者支援センター、派遣会員: 藤本真樹)</p> <p>7. 山口県ソーシャルワーカー連絡協議会との連携強化</p> <p>(1) 山口県ソーシャルワーカー連絡協議会に参画</p> <p>1) 1回目 【開催日】7/17【会場】山口県立大学【参加数】当会2名、精神保健福祉士協会4名、医療ソーシャルワーカー協会3名【内容】情報共有</p> <p>2) 2回目 【開催日】11/10【方法】オンライン【参加数】当会2名、精神保健福祉士協会3名、医療ソーシャルワーカー協会2名【内容】SWD 振り返りと情報共有</p> <p>(2) ソーシャルワーカーデーイベントの共催</p> <p>【開催日】7/17【会場】山口県立大学【担当者】本会の担当は西部ブロック (下関市ブロック、宇部市ブロック、山陽小野田市ブロック) と山口県精神保健福祉士協会、山口県医療ソーシャルワーカー協会の県内ソーシャルワーカー団体【内容】〈シンポジウム〉「生活を支える SW の魅力を知ろう～児童分野を中心に貧困家庭の支援に関わるソーシャルワーカーの仕事や取り組みを紹介します～」(コーディネーター) 内田充範/山口県立大学社会福祉学部/教授 (シンポジスト) 藤井和恵/山口県精神保健福祉士協会 (宇部市・山口市教育委員会/スクールソーシャルワーカー)、森脇千夏/山口県医療ソーシャルワーカー協会 (山口県済生会下関総合病院/医療ソーシャルワーカー)、杉山美羽/山口県社会福祉士会 (認定 NPO 法人山口せわやきネットワーク子ども明日花プロジェクト/相談員)、〈懇談会〉児童、高齢、障がい、医療など分野に分かれてのグループトーク【参加者数】105 名</p>
--	--

	<p>8. 四会連絡協議会との連携強化 【詳細は、司法ソーシャルワーカーの養成機関の立ち上げに向けた準備会を参照】</p> <p>9. 日本社会福祉士会主催研修等へ受講者推薦 部・委員会に関連するものは、各部・委員会の活動報告に記載。</p> <p>10. 日本社会福祉士会との連携・協力 (1) 日本社会福祉士会通常総会 【開催日】6/17【場所】鉄鋼会館（東京都中央区日本橋） 【参加者】橘康彦 (2) 2023 年度臨時総会 1) 1 回目 【開催日】9/2【場所】東京八重洲【出席者】辻中浩司 2) 2 回目 【開催日】3/16【場所】東京千代田区【出席者】辻中浩司 (3) 2023 年度都道府県会長会議 【開催日】9/2、3【場所】東京八重洲【内容】入会促進・退会抑制について、独立型社会福祉士について【出席者】辻中浩司 (4) 権利擁護センターばあとなあとの連携 詳細は、ばあとなあ山口委員会報告を参照。 (5) 全国生涯研修委員会 1) 1 回目 【開催日】5/14【場所】オンライン【内容】【出席者】吉村真 2) 2 回目 【開催日】9/23【場所】東京代々木【内容】報告「グループスーパービジョンに関する調査結果」報告「認証研修の演習部分におけるオンライン」討議「受講者への個別対応、若年層にむけた研修等」 【出席者】吉村真 (6) アンケート調査などへの協力 独立型社会福祉士に関する委員会の設置状況等調査、こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究「職能団体会員調査」 (7) 2023 年度事務局代表者会議 【開催日】2/15【場所】オンライン【内容】事務局業務に関する情報交換（テーマ選択制）【参加者】吉村真 (8) 都道府県社会福祉士会災害担当国会議 【開催日】2/25【場所】オンライン【内容】（講演）災害福祉支援ネットワーク中央センターの事業実施状況と社会福祉士会への期待、県士会からの報告など【参加者】藤本真樹、吉村真 (9) 正副会長における 47 都道府県社会福祉士会訪問 【訪問日】10/25【訪問者】西島善久（日本社会福祉士会/会長） 【内容】各都道府県社会福祉士会の課題や日本社会福祉士会への意見交換【対応者】辻中浩司、吉村真 (10) 日本社会福祉士会設立三十周年記念式典 【開催日】3/16【場所】東京八重洲【出席者】辻中浩司</p> <p>11. 綱紀案件事務委託契約 日本社会福祉士会と契約を締結した。</p>
--	--

	<p>1 2. 中国ブロック県士会との連携 基礎研修の振替受講を調整した。</p> <p>1 3. 都道府県社会福祉士会との連携強化 全国大会に関する情報提供を行った。（島根県社会福祉士会）、 成年後見制度利用に係る送付先変更の窓口一括受付に関する状 況調査について（兵庫県士会）</p>
6. 総合企画部会議の開催	<p>1. 総合企画部会議を開催。 （1）1 回目 【開催日】8/1【場所】オンライン【内容】総合企画部の役割の説明と 役割分担【参加者】5 名 （2）2 回目 【開催日】11/14【場所】オンライン【内容】総合企画部及び業務執行 理事にて事業の進捗状況の確認と次年度の事業計画について検 討【参加者】6 名</p>
<p>■総括</p> <p>第一期中期計画の4 年目、評価は「目標達成・ある程度成果は得られたが継続的な取組が必要」が全体の 70%（昨年度 66%）、「実施したが成果は得られなかった・計画したが未実施」が 14%（昨年度 14%）、「未計画」が 16%（昨年度 20%）という結果となった。昨年度に比べ、評価は良くなったものの、今後取り組むべき事業が 30%であった。取り組むべき事業や課題が多くある中、事業を担う委員会等の体制とその組織を担う人材の不足が課題である。</p> <p>今後は、第一期中期計画の成果と課題を整理しながら、第二期中期計画の策定に向け取り組む必要がある。</p>	

## （5）ブロック活動部

事業方針にもとづき、ブロック活動部は次の事業を行う。

### ■岩国市・和木町ブロック

○ブロック選出理事：高木裕美

○ブロック長：山根茂樹

○副ブロック長：茅原史貴

【重点目標】	
<p>○ 社会的ニーズ又は地域課題に即したブロック研修を計画する。</p> <p>○ 研修を通して会員の資質向上と地域活動の活性化に繋げる。</p> <p>○ 会員及び福祉従事者等と親睦を図り、圏域のネットワーク強化を図る。</p>	
事業計画	事業報告
<p>1. 定例会 月の担当者を割り当て、活動内容について、その担当者に委ねる。内容については多種多様に開催する。</p> <p>・偶数月の第 3 金曜日開催予定 ・会場 岩国市福祉会館 時間 19 時～21 時</p>	<p>1. 定例会、研修会を開催 （1）1 回目 【テーマ】「終活」支援の活動を通じて見えてきたもの【講師】三谷彰寛（瑞相寺 35 世住職）【開催日】6/16（金）19:00～20:30【参加者数】16 名（内、会員 16 名） （2）2 回目 【テーマ】「引きこもる若者に寄り添うには」、第 1 部「山口県岩国健康福祉センター管内における若者のひきこもり支援について」【講師】横山紗綾加・桃木麻里（山口県岩国健康福祉センター 健康増進課 精神・難病班）、第 2 部「しゅうなん若者サポートステーションの活動について」【講師】田中康之（臨床心理士・公認心理師）【開催日】8/18（金）19:00～20:30【参加者数】11 名（内、会員 11 名） （3）3 回目</p>

	<p>【テーマ】「独り暮らしの認知症高齢者の支援」【講師】大谷和香子（岩国市福祉部高齢者支援課地域包括支援班）【開催日】10/20（金）19:00～20:30【参加者数】9名（内、会員9名）</p> <p>（4）4回目</p> <p>【テーマ】「支援者が抱えるストレスケアについて」【講師】森和美（精神保健福祉士・公認心理師）【開催日】12/16（土）19:00～20:30【参加者数】8名（内、会員8名）</p> <p>（5）5回目</p> <p>【テーマ】「自宅でその人らしく幸せに暮らし続けるためにできること」【講師】暮らし支援サービス netto 木村亮祐【開催日】2/16（金）19:00～20:30【参加者数】23名（内、会員8名）</p>
2. 情報提供・情報共有	1. 岩国ブロックメーリングリストの啓発・普及活動を実施した。
3. 仲間と絆を深めよう会（年2回 懇親会、新年会）	未実施 ※社会福祉士会として呼びかけはしていないが、会員を軸とした懇親会は実施できている。
4. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	未実施
5. 行政や関係機関などとの連携 必要に応じて、行政や社会福祉協議会等の関係機関、他職能団体との連携を図り、社会福祉の増進並びに社会福祉士の社会的地位向上を目指す。	<p>1. 令和5年度岩国市地域包括ケア推進協議会（山根茂樹）</p> <p>2. いわくに住環境・福祉機器研究会（7月、10月、11月）</p> <p>3. 岩国市地域包括ケア推進協議会（8月、9月、11月、3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療部会（2月、5月）</li> <li>・日常生活圏域部会（7月、12月）</li> <li>・住まい部会（10月、11月、12月、1月）</li> <li>・認知症対策部会（12月）</li> </ul> <p>4. 介護認定審査会 4名</p> <p>5. 障害支援区分審査会 2名</p>
6. 会活動のオリエンテーション	未実施
7. 会員数の増加 新規会員獲得目標数3名	1. 新入会員数 6名
8. 基礎研修Ⅰ中間課題の取り組みへの協力	相談依頼なし
<p>■総括</p> <p>ブロック研修については多彩なテーマを取り上げ、計画通り実施することができたが、参加者の広がりについては課題を残した。2023年度最後の研修（2月実施分）については、久しぶりの集合研修を実施し、参加者の数もさることながら、非会員からの関心も高く、次年度（2024年度）につながる内容となったことは評価できる。その他の取り組みについては、十分に実施できていない。次年度は会員の力に依拠（担当を割り振る等）して取り組みを具体化することが必要であると考えている。</p>	

■柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック

○ブロック選出理事：秋田将利

○ブロック長：中村あゆみ

【重点目標】	
○ コロナ禍における会員同士のネットワーク強化をさらに促進する。	
○ 会員のニーズに対応した研修計画に基づき、研修を開催する。	
事業計画	事業報告
1. 定例会（ブロック研修会・会議）「しゃべり BAR in サザンセット」隔月（偶数月）の第2金曜 19 時～ 【内容】 ・「令和 4 年度ブロック活動計画」に基づいたテーマでの研修開催 ・ソーシャルワーカーとしての悩み相談、事例検討 ・必要に応じブロック会議での協議 ・他の職能団体や関係機関等との連携	1. 定例会を開催（Zoom 開催） （1）1 回目 【テーマ】「障がいがある人の生活を支援すること」【開催日】4/14（金）19:30～21:00【講師】安田風明（社会福祉法人鼓ヶ浦整肢学園/相談総合支援センターぱれっと/相談支援専門員）【参加者数】15 名（内、会員 14 名） （2）2 回目 【テーマ】「住宅機能のアセスメント」【開催日】6/9（金）19:00～20:30【講師】満元貴治（株式会社 HAPROT（広島県廿日市市）/代表取締役、作業療法士）【参加者数】15 名（内、会員 13 名） （3）3 回目 【テーマ】「社会福祉士によるトラウマの検討」【開催日】8/11（金）19:00～20:30【講師】安田風明（社会福祉法人鼓ヶ浦整肢学園/相談総合支援センターぱれっと/相談支援専門員）【参加者数】8 名（内、会員 8 名） （4）4 回目 【テーマ】「児童相談所の現状」【開催日】10/13（金）19:00～20:30【講師】中司ひかり（岩国児童相談所）【参加者】9 名（内、会員 9 名） （5）5 回目 【テーマ】「8050 問題について」、【開催日】12/8（金）19:00～20:30【講師】中島紫（山口県精神保健福祉センター）長岡信也（柳井市健康福祉センター）【参加者】10 名（内、会員 10 名） （6）6 回目 【テーマ】ブロック会議、【開催日】2/9（金）19:00～20:30【参加者】8 名
2. 情報提供・情報共有	1. 本会 HP の他、SNS 等を活用した連絡体制を構築し、ブロック研修会や会議等の周知を図った。  2. 未加入者への入会呼びかけを行う。
3. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	未実施
4. 行政や関係機関などとの連携	1. 必要に応じて、行政や社会福祉協議会等の関係機関、他職能団体との連携を図り、社会福祉の増進並びに社会福祉士の社会的地位向上を目指した。
5. 会活動のオリエンテーション	未実施
6. 会員数の増加 新規会員獲得目標数 3 名	1, 新入会員数 1 名
7. 基礎研修Ⅰ中間課題の取り組みへの協力	協力依頼なし。



## ■総括

計画に沿って隔月に定例会を開催し、当ブロック会員の他、他ブロック、非会員の方にも広く参加していただくことができました。反対にオリエンテーション、会員交流会の開催や目標としていた新規会員3名の獲得ができておらず、ネットワーク強化の促進についても未達成に終わっています。来期はこれらの点に力を入れ、積極的な活動を展開し、成果につなげていきたいと考えています。

## ■周南市・下松市・光市ブロック

○ブロック選出理事：藤本真樹

○ブロック長：白井智寛

### 【重点目標】

○ ブロック活動の活性化と会員相互の繋がり強化

○ 地域貢献に向けた取り組みの実施

事業計画	事業報告
1. ブロック会議・研修会の開催	<p>1. ブロック会議を開催</p> <p>(1) 1回目 【テーマ】今年度のブック活動についてなど【開催日】6/10(土) 18:30～20:00【参加者数】8名(内、会員8名)</p> <p>(2) 2回目 【テーマ】会員オリエンテーション、ブロック活動について等【開催日】3/13(土) 19:00～20:30【参加者数】4名(内、会員4名)</p> <p>2. 研修会を開催</p> <p>(1) 1回目 【テーマ】ふくしのどようがっこう特別編【開催日】8/12(土) 13:00～16:00【内容】ヤングケアラーケアフル講演会&amp;ディスカッション(講演)「ヤングケアラー支援の実際」、(報告)「NPO法人コネクト・ワン令和4年度の活動報告」、(ディスカッション)「フカボリ!ヤングケアラー支援」【主催】特定非営利活動法人コネクト・ワン【共催】周南市・下松市・光市ブロック【参加者数】37名(内、会員9名)</p> <p>(2) 2回目 【テーマ】ふくしのどようがっこう in 防府「ヤングケアラーケアフル勉強会」【開催日】11/11(土) 14:00～15:30【内容】講演会「ヤングケアラー支援の実際とそこから見える支援に必要なコト・モノ・ヒト」講師：岩金俊充氏(いわかね社会福祉事務所)【主催】特定非営利活動法人コネクト・ワン【共催】グリーフサポートやまぐち、山口県社会福祉士会 防府市ブロック、周南市・下松市・光市ブロック【参加者数】34名(内、会員6名)</p> <p>(3) 3回目 【テーマ】ふくしのどようがっこう in 防府「ヤングケアラーケアフル勉強会」【開催日】12/16(土) 14:00～15:30【内容】ワークショップ「ヤングケアラーについて具体的に考えてみよう!」【主催】特定非営利活動法人コネクト・ワン【共催】グリーフサポートやまぐち、山口県社会福祉士会 防府市ブロック、周南市・下松市・光市ブロック【参加者数】31名(内、会員9名)</p> <p>(4) 4回目 【テーマ】ふくしのどようヤングケアラーケアフル勉強会【開催日】3/30(土) 14:00～15:30【内容】講演会「ヤングケアラーが抱える葛藤～ありのままに寄り添うために～」講師：高岡里衣氏【主催】特定非営利活動法人コネクト・ワン【共催】グリーフサポートやまぐち、山口県社会福祉士会 防府市ブロック、周南市・下松市・光市ブロッ</p>

	ク
2. 情報提供・情報共有	1. LINEの活用 周南市・下松市・光市ブロックのグループLINE（YSW周南・下松・光ブロック）を作成。メンバー同士の交流、情報交換、各種情報提供で活用。（R6.3.31 現在 29 名登録）  2. 県士会HPの活用
3. 成年後見制度の利用促進に関する取組	8 月に商工会議所会員の定例会にて成年後見制度についての研修会の講師として会員が参画。現在、圏域担当者が周南三市の中核機関運営に関しての委員を担っているため、今後は各市の状況に応じて、ブロックとしての活動協力に関して検討を進めている。
4. 新入会員歓迎会&会員交流会	未実施
5. 行政や関係機関などとの連携	1. 他団体との連携 各審査会委員等、依頼を受け会員を推薦。 下松市地域包括支援センター運営協議会及び下松市地域密着型サービス運営委員会（古谷俊昭）
6. 会活動のオリエンテーション	1. オリエンテーションの開催（ブロック会議にて実施） 【開催日】3/13（水）19：00～20：30
7. 会員数の増加 新規会員獲得目標数 13 名	1. 新入会員数 4 名 数名の新規入会者はみられたものの目標達成には至らなかった。未入会の資格保有者には入会の声掛けはしているが、具体的・積極的な取り組みができていないことが原因と思われる。
8. 基礎研修Ⅰ中間課題の取り組みへの協力	受講会員から依頼を受け対応している。
<b>■総括</b> 今年度の重点目標の1つに挙げていた地域貢献に向けた取り組みの実施については、福祉分野以外の団体における研修会やふくしの寺子屋オンライン授業【社会福祉士】への参画ができたものの、他団体との共催による研修会の開催が多く、ブロック単独での活動が少なかったため取り組みは不十分であった。また、新規会員数の増加は目標数に届かず、新規入会者を対象とした活動も未実施であったことから、ブロック活動の活性化や会員相互の繋がり強化には至らなかった。ブロック活動への参加者の顔ぶれが同じメンバーに留まっていることも課題の1つであり、今年度の反省点を生かして、次年度は魅力あるブロック活動を展開していくことで、専門職としての地域貢献の実現やブロック活動への参加者の増加、さらには新規会員の獲得を目指す。	

#### ■山口市・美祢市ブロック

○ブロック選出理事：尾中未来

○ブロック長：須原志保

○副ブロック長：大枝康祐

<b>【重点目標】</b> ○ 研修参加を通して会員としての意識を高める。 ○ 会員同士のネットワークを作り、顔の見える関係づくりを目指す。 ○ 他職能団体や関係機関との連携を強化する。	
事業計画	事業報告

1. 研修会の実施	<p>1. ブロック会議の開催</p> <p>(1) 1回目 【テーマ】今年度の活動内容について【開催日】5/24(水) 19:00～20:00 【参加者数】4名(内、会員4名)</p> <p>(2) 2回目 【テーマ】来年度の活動計画について【開催日】10/30(月) 9:30～10:30【参加者数】3名(内、会員3名)</p> <p>2. 研修会の開催</p> <p>(1) 1回目 【テーマ】「山口市における重層的支援の体制整備の取り組み」【講師】松永俊夫氏(山口市地域福祉課/地域福祉担当)【開催日】7/12(水) 19:00～20:30【方法】オンライン【参加者数】23名(内、会員23名)</p> <p>(2) 2回目 【テーマ】「会員のお仕事紹介 Part 6」【講師】坂井芳浩(専門里親、母子生活支援施設沙羅の木SV、保護司、山陽小野田市SSW、山口市議会議員)徳田友美(山口赤十字病院医療社会事業部医療ソーシャルワーカー)【開催日】8/24(木) 19:00～20:30【方法】オンライン【参加者数】14名(内、会員14名)</p> <p>(3) 3回目(防府市ブロックとの合同企画) 【テーマ】重度身体障害をもちながらの自立～特別支援学校を卒業して大学教員になるまで～【講師】長谷和久氏(山口大学教育学部/講師)【進行】渡邊靖志氏(東亜大学)【開催日】11/27(月) 19:00～20:30【形式】オンライン【参加者数】山口市美祢市ブロック9名、防府市ブロック4名、学生7名(内、会員13名)</p> <p>(4) 4回目 【テーマ】「会員のお仕事紹介 Part 7」【講師】川崎貴博(山口県中央児童相談所)吉村真(山口県社会福祉士会事務局次長)【開催日】1/18(木) 19:00～20:30【方法】オンライン【参加者数】14名(内、会員14名)</p>
2. 情報提供・情報共有	<p>1. LINEの活用 山口市・美祢市ブロックのグループLINEにてメンバー同士の交流、情報交換、情報提供を図っている。「情報提供用」と「しゃべり場」と2つのグループLINEを活用。現在50名の登録あり。</p> <p>2. 県士会HPの活用</p>
3. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	<p>1. 懇親会の開催 【開催日】9/2(土) 19:00～21:30【場所】炭火イタリアン grigio【参加者】19名</p>
4. 行政や関係機関などとの連携	<p>1. ゴミ出しボランティア活動(山口市内) 【活動日】10/14(土) 8:30～11:30【参加者数】ブロック会員8名、行政4名</p>
5. 会活動のオリエンテーション	<p>1. オリエンテーションの開催 【開催日】1月18日(木) 19:30～20:00 お仕事紹介の際、吉村事務局次長より説明</p>
6. 会員数の増加 新規会員獲得目標数 10名	<p>1. 新入会員数 8名</p>
7. 基礎研修Ⅰ中間 課題の取り組みへの	<p>協力依頼なし。</p>

協力	
8. 委員会との連携 協力	<p>1. キャリア教育推進委員会 新</p> <p>(1) 社会福祉士全国統一模擬試験のスタッフ（試験官）にブロック会員を派遣する。</p> <p>【開催日】10/1（土）【派遣会員】須原志保、野原徹、森尾憲嗣、吉木伸行</p> <p>(2) 社会福祉士・社会福祉士会の PR 活動の一環として、社会福祉士養成校の山口県立大学での実践報告者に、ブロック会員を派遣する。</p> <p>【派遣会員】山中将嗣、則近あゆみ</p> <p>(3) 要約筆記者養成講座の講師にブロック会員を派遣する。</p> <p>【派遣会員】原田純子、植木伸彦</p>
<p>■総括</p> <p>予定のとおり会員のスキルアップと情報交換、相互交流を目的に研修2回、会員のお仕事紹介を2回実施できた。ジェネラルな視点と会員間の顔の見える関係作りに貢献できたと思う。また新型コロナウイルスの拡大で開催できていなかった交流会を対面で実施できたこと、社会貢献活動として研修で学んだことをもとに地域で活動展開ができたことは今年の成果として大きい。一方で研修会のあらたな参加者の獲得が課題。会員相互の声かけやニーズに応じた研修企画、親睦会等通じ、新規入会者やブロック活動への参加者を増やせるよう努めていきたい。</p>	

## ■防府市ブロック

○ブロック選出理事：越智尚史

○ブロック長：瀧口コヅエ

【重点目標】	
<p>○ 未加入者を勧誘して新しい会員を増やす。</p> <p>○ 「多職種」・「他職種」連携が図れるような仕組みや顔の見える関係性を作る。</p> <p>○ 会員の意見も考慮し、参加しやすい研修を企画する。</p>	
事業計画	事業報告
1. 4か月に1回、勉強会及び情報交換会	<p>1. 研修会を実施</p> <p>(1) 1回目</p> <p>【テーマ】ヤングケアラーケアフル勉強会～ふくしのどようがっこう in 防府～【講師】岩金俊充（認定社会福祉士・児童・家庭分野）【開催日】11/11（土）14：00～15：30【形式】ハイブリッド【主催】NPO法人コネクト・ワン【共催】山口県社会福祉士会周南市・下松市・光市・防府市ブロック【同テーマで12/16、ワークショップ開催】</p> <p>(2) 2回目（山口市・美祢市ブロックとの合同企画）</p> <p>【テーマ】重度身体障害をもちながらの自立～特別支援学校を卒業して大学教員になるまで～【講師】長谷和久（山口大学教育学部/講師）【開催日】11/27（月）19：00～20：30【形式】オンライン【参加者数】18名（内、会員15名）</p>
2. 他団体と合同で研修会を開催する。	<p>1. 防府薬剤師会と合同研修会を実施。</p> <p>(1) 1回目</p> <p>【テーマ】「国民年金制度について」【開催日】7/21（金）19：30～20：30【講師】原田美由紀係長、清水良太主事（防府市役所保険年金課/年金係）【参加者数】会場11名・オンライン10名（内、会員3名）</p> <p>(2) 2回目</p> <p>【テーマ】「心不全について」【開催日】11/13（月）19：30～20：30</p>

	【講師】米澤孝仁（桑陽病院/院長）【参加者数】会場 11 名・オンライン 5 名（内、会員 3 名）
3. 情報提供・情報共有	1. 県士会HPの活用
4. 親睦会、新入会員歓迎会&会員交流会	1. 親睦会、新入会員歓迎会&会員交流会 【開催日】2/16【参加者数】新入会員を交えて 9 名
5. 行政や関係機関などとの連携	1. 他団体との連携
6. 会活動のオリエンテーション	未実施
8. 会員数の増加 新規会員獲得目標数 2 名	1. 新入会員数 2 名
9. 基礎研修Ⅰ中間課題の取り組みへの協力	協力依頼なし。
<b>■総括</b> 重点目標である会員の勧誘は、新入会員が 1 名入り、もう 1 名の入会希望者がいる。年度が明けたら 1 名入会予定で目標が達成できた。 参集での研修会も行い、コロナによる制限もあまり聞かなくなったが、病院関係者はまだ参加に対して意識が厳しいように感じる。多職種・他職種連携の研修も社会福祉士として情報量が少ない医療関係の研修を実施し、今後の活動に役立つようにしたい。 社会福祉士の研修は、共同開催ばかりだったので次年度は単独で企画して研修を実施していきたいと考えている。	

## ■宇部市ブロック

○ブロック選出理事：神田陽子

○ブロック長：安光洋平

<b>【重点目標】</b> ○ 会員間の相互のつながりの強化 ○ 会員数の増加 ○ 会員が参加したいと思える研修の開催	
事業計画	事業報告
1. 定例会	未実施
2. 新入会員歓迎会 &会員交流会	未実施
3. 行政や関係機関 などとの連携	1. 宇部市多職種連携研修会への会員推薦 【推薦者】山根直子【開催日】12/10【会場】宇部市総合福会館
4. 会活動のオリエンテーション	未実施
5. 会員数の増加 新規会員獲得目標数 3 名	1. 新入会員数 4 名
6. 基礎研修Ⅰ中間課題の取り組みへの協力	受講会員からの依頼に対応した。
7. ソーシャルワーカーデー in やまぐち	1. ソーシャルワーカーデー担当ブロックとして企画運営を担う。 【総合企画部報告「事業計画 5-報告 7-(2)」を参照】
<b>■総括</b>	

ソーシャルワーカーデーの担当ブロックとして企画運営に従事できたものの、他活動に関しては未実施となった。次年度は交流会を含めて調整していきたい。

## ■山陽小野田市ブロック

○ブロック選出理事：山高正義

○ブロック長名：若松勇輔

【重点目標】	
○ ブロック会員のネットワークづくり	
○ ブロック会員による他機関とのつながりを強化	
○ 社会福祉士として活躍場を広げるためのスキルアップ研修会の実施	
事業計画	事業報告
1. 研修会の開催	1. 研修会の開催 (1) 1回目 <b>【テーマ】</b> オリエンテーション、意見交換 <b>【開催日】</b> 7/1(日)15:30～17:00 <b>【参加者数】</b> 10名(内、会員10名) (2) 2回目 <b>【テーマ】</b> ケース検討 <b>【開催日】</b> 9/3(日)10:00～11:30 <b>【参加者数】</b> 10名(内、会員10名) (3) 3回目 <b>【テーマ】</b> ケース検討 <b>【開催日】</b> 11/25(土)16:00～17:30 <b>【参加者】</b> 10名(内、会員10名) (4) 4回目 <b>【テーマ】</b> 法律勉強会 <b>【講師】</b> 岡田卓司(岡田法律事務所) <b>【開催日】</b> 3/2(土)16:00～17:30 <b>【参加者数】</b> 10名(内、会員10名)
2. 会員同士の連携強化	1. ブロック会議 同上(研修会と兼ねる)
3. 新入会員歓迎会 &会員交流会	・7/1 予定だったが荒天のため中止。 ・11/25 に忘年会を開催。
4. 行政や関係機関 などとの連携	1. 協議会等の委員を推薦した。 山陽小野田市障害支援区分認定審査会(安光洋平、大神尚子)
5. 会活動オリエン テーションの開催	1. オリエンテーションの開催 <b>【開催日】</b> 7/1(日)15:30～17:00
6. 会員数の増加 新規会員獲得目標数 3名	1. 新入会員数 3名
7. 基礎研修Ⅰ中間 課題の取り組みへの 協力	協力依頼なし。
8. ソーシャルワー カーデーinやまぐち	1. ソーシャルワーカーデー担当ブロックとして企画運営を担う。 <b>【総合企画部報告「事業計画5-報告7-(2)」を参照】</b>
<b>■総括</b> オープンチャットを活用したことで、安定的に研修会・ブロック会議を開催することができた。	

# ■萩市・長門市・阿武町ブロック

○ブロック選出理事：中村幸一郎

○ブロック長名：松尾考真

○副ブロック長名：松田友也

<b>【重点目標】</b> 新規入会の促進、会活動の活性化。 ○ 研修会や親睦会の開催により、会員同士・関係機関とのネットワーク強化。 ○ メーリングリスト等を活用し、会の情報を発信していく。	
事業計画	事業報告
1. 情報提供・情報共有	1. 情報共有、情報発信 メーリングリストや LINE グループを活用して情報提供・情報共有を行った。
2. 年 2 回研修会を開催する	1. 研修会の開催 (1) 1 回目 <b>【テーマ】</b> 地域連携室・医療ソーシャルワーカーの役割について <b>【開催日】</b> 12/8 (金) 18:30～20:00 <b>【講師】</b> 田村和彦・松尾義之 (長門総合病院/医療ソーシャルワーカー) <b>【場所】</b> オンライン <b>【参加者数】</b> 13 名 (内、会員 10 名) (2) 2 回目 <b>【テーマ】</b> 研修講師の心得 <b>【開催日】</b> 3/7 (木) 18:30～20:00 <b>【講師】</b> 梅木幹司 (至誠館大学/現代社会学部/教授) <b>【場所】</b> オンライン <b>【参加者数】</b> 8 名 (内、会員 8 名)
3. 会員同士の親睦を深める機会	未実施
4. 新入会員歓迎会 & 会員交流会	未実施
5. 行政や関係機関などとの連携	特になし
6. 会活動のオリエンテーション	1. オリエンテーションの開催 <b>【開催日】</b> 8/8 (火) 19:00～20:30 <b>【参加者】</b> 7 名 <b>【内容】</b> 事務局からの活動説明、自己紹介、今年度の活動計画についての検討
7. 会員数の増加 新規会員獲得目標数 5 名	1. 新規入会員 1 名
8. 基礎研修 I 中間課題の取り組みへの協力	協力依頼なし。
9. ソーシャルワーカーデー in やまぐち	1. ソーシャルワーカーデー担当ブロックとして企画運営を担う。 <b>【総合企画部報告「事業計画 5-報告 7-(2)」を参照】</b>
10. 委員会との連携協力	1. キャリア教育推進委員会事業への協力 (1) 社会福祉士・社会福祉士会の PR 活動の一環として、社会福祉士養成校の至誠館大学での実践報告者に、ブロック会員を派遣した。 <b>【実施日】</b> 11/28 (火) <b>【実践報告者】</b> 谷井美佐子、松田友也
<b>■総括</b> オリエンテーションや研修会はオンラインで開催したが、親睦会や歓迎会など開催することができなかった。次年度は、集合研修や親睦会など開催し、会員同士のネットワーク強化を図りたい。	

## ■下関市ブロック

○ブロック選出理事：佐藤義浩

○ブロック長名：道中朋子

○副ブロック長名：朝原博順、宅野浩未

**【重点目標】**  
 複雑且つ多様な社会環境の変化にともない、変化する福祉課題について把握していく。  
 勉強会を通じて、関係機関・団体等と交流をはかり、地域のネットワークの環境整備をする。  
 定例勉強会、ミニ座談会、福祉啓蒙活動を通じて、会員同士のつながりを図る。また、新規加入者の掘り起こしをする。  
 ○ 県事務局のホームページを活用して、各活動の案内等の周知を図る。

事業計画	事業報告
1. 研修会の実施	1. 研修会の開催 (1) 1回目 <b>【テーマ】</b> おとなのひきこもりについて <b>【開催日】</b> 9/8(金) 19:00~20:30 <b>【講師】</b> 石川章氏(NPO 法人 Nest/代表) <b>【参加者数】</b> 14名(内、会員14名) (2) 2回目 <b>【テーマ】</b> 日々の気持ちのとのえ方 <b>【開催日】</b> 11/28(火) <b>【講師】</b> 石津育幸氏(社会福祉士) <b>【参加者数】</b> 8名(内、会員8名) (3) 3回目 <b>【テーマ】</b> 下関市における重層的支援体制整備事業の活動状況 <b>【開催日】</b> 令和6年2/14(水)
2. 年1回の事例検討会の実施	実施なし
3. 年1回の施設見学の実施	1. 施設見学会を実施 <b>【内容】</b> 子どもの居場所「川中れんげホーム」見学 <b>【開催日】</b> 10/21 <b>【参加者数】</b> 5名
4. 地域活動への参加	1. 地域活動への参加 <b>【開催日】</b> 8/19(土) <b>【内容】</b> 馬関まつり「愛の広場」への参加 <b>【参加者数】</b> 6名
5. 他団体との合同研修会	1. 下関市介護支援専門員協会様と合同研修会の実施 <b>【テーマ】</b> 「下関市における重層的支援体制整備事業の活動状況」 <b>【開催日】</b> 令和6年2/14(水) 19:00~20:30 <b>【講師】</b> 朝原博順氏(社会福祉法人下関市社会福祉協議会相談支援包括化推進員) <b>【参加者数】</b> 26名(内、会員15名、下関市介護支援専門員協会員11名)
6. 新人歓迎会&会員交流会	1. 会員交流会の開催 <b>【開催日】</b> 12/22(金) <b>【場所】</b> 「巖流島 魚鮮水産 新下関店」にて4年ぶりの開催！
7. 行政や関係機関などとの連携	1. 行政や関係機関等からの各種委員等の推薦依頼に対し、会員を推薦した。 下関市地域包括支援センター運営協議会の委員及び下関市地域密着型サービス運営委員会(成清幸子)
8. 会活動のオリエンテーション	1. オリエンテーションの開催 <b>【開催日】</b> 5/16(火) 19:00~20:30 <b>【参加者】</b> 9名
9. 会員数の増加 新規会員獲得目標数14名	1. 下関市ブロック活動等とおし、当会入会促進を図る。 グループLINEの周知、加入をよびかける。 2. 新入会員数 10名
10. 基礎研修Ⅰ中間課	受講者2名に対し、3名の社会福祉士の協力を得て実施。



題の取り組みへの協力	
11. ソーシャルワーカーin やまぐち	1. ソーシャルワーカーデー担当ブロックとして企画運営を担う。 【総合企画部報告「事業計画5-報告7-(2)」を参照】
<p>■総括</p> <p>新メンバーになって迎えた2023年度。みなさまのおかげをもちまして、事業を計画通り実施することができました。また、4名の新規会員を迎えることができたこと、会員交流会と他団体との合同研修会が数年ぶりに実施できたことは、会員みなさまのご協力のおかげだと感じています。本当にありがとうございます。</p> <p>2024年度も下関市ブロックらしく、会員同士の横のつながりだけでなく、顔の見える関係を築けるような事業、「参加したい!」と思える事業を展開していきたいと思います。2024年度も引き続きどうぞよろしくお願い致します。</p>	

一般社団法人山口県社会福祉士会

第 30 回定時社員総会

第 2 号議案

2023 年度決算報告

一般社団法人山口県社会福祉士会

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	41,328,380	36,388,212	4,940,168
未収会費	945,496	874,522	70,974
未収金	12,930,206	11,701,753	1,228,453
立替金	0	59,432	△ 59,432
流動資産合計	55,204,082	49,023,919	6,180,163
資産合計	55,204,082	49,023,919	6,180,163
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,248,735	1,053,167	195,568
預り金	227,483	323,634	△ 96,151
流動負債合計	1,476,218	1,376,801	99,417
負債合計	1,476,218	1,376,801	99,417
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
負担金	△ 297,893	△ 236,884	△ 61,009
寄附金	2,101,595	2,338,479	△ 236,884
指定正味財産合計	1,803,702	2,101,595	△ 297,893
2. 一般正味財産	51,924,162	45,545,523	6,378,639
正味財産合計	53,727,864	47,647,118	6,080,746
負債及び正味財産合計	55,204,082	49,023,919	6,180,163

一般社団法人山口県社会福祉士会  
正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

全会計

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	195,000	150,000	45,000	
受取入会金	195,000	150,000	45,000	○入会金 5,000円/入会年
受取会費	13,282,950	13,012,522	270,428	
正会員受取会費	10,803,000	10,685,000	118,000	○正会員会費 15,000円/年
賛助会員受取会費	16,000	16,000	0	○賛助会員会費1,000円(個人)5000円(法人)
ばあとなあ山口会員受取会費	2,463,950	2,311,522	152,428	○ばあとなあ山口会員会費 3,000円/年 ○ばあとなあ名簿登録料 10,000円/年 ○事業運営負担金(ばあとなあ専属職員賃金分)
事業収益	2,486,800	2,632,900	△ 146,100	
資格取得支援事業収益	435,800	409,600	26,200	○社会福祉士全国統一模擬試験試験料
地域権利擁護事業収益	12,500	18,500	△ 6,000	○SSW委員会企画研修会受講料
会員活動支援事業収益	4,500	1,800	2,700	○ブロック活動参加料
福祉人材育成事業収益	2,034,000	2,203,000	△ 169,000	○基礎研修ⅠⅡⅢ受講料 ○実習指導者講習会受講料 ○実習指導者フォローアップ研修会受講料 ○スーパービジョンコーディネート料 ○名簿登録研修受講料
受取補助金等	17,087,343	15,860,153	1,227,190	
受取地方公共団体補助金	300,000	535,000	△ 235,000	○福祉・介護への理解促進事業(ソーシャルワーカー)
県受託収益	16,512,343	15,105,153	1,407,190	○高齢者権利擁護推進事業 ○障害者権利擁護センター運営事業 ○地域包括ケア専門職派遣システム構築事業 ○子どもの権利擁護の相談体制整備事業 ○住宅改修等点検に係る専門職派遣事業
市町受託収益	275,000	220,000	55,000	○下関市成年後見制度利用促進支援事業
受取負担金	68,744	54,665	14,079	
受取負担金振替額	68,744	54,665	14,079	○寄付金事務的管理経費
受取寄付金	229,149	182,219	46,930	
受取寄付金振替額	229,149	182,219	46,930	○寄付金事業経費
雑収益	111,456	94,876	16,580	
受取利息	410	375	35	○預貯金口座受取利息
雑収益	0	0	0	
会員管理手数料	111,046	94,501	16,545	○会費等回収手数料
<b>経常収益計</b>	<b>33,461,442</b>	<b>31,987,335</b>	<b>1,474,107</b>	

科目	当年度	前年度	増減	備考
(2) 経常費用				
事業費	26,032,660	24,642,774	1,389,886	【事業内容】 ■委託事業部 ○障害者権利擁護センター委員会 ・障害者権利擁護センター運営事業 ○高齢者権利擁護推進委員会 ・高齢者権利擁護推進事業 ・地域包括ケア専門職派遣システム構築事業 ・住宅改修等点検に係る専門職派遣事業 ○子ども権利擁護推進委員会 ・子どもの権利擁護のための相談体制事業 ○下関市成年後見制度利用促進支援事業 ■公益事業部 ○権利擁護センターばあとなあ山口委員会 ・尾崎邦子氏寄付金活用事業 ○スクールソーシャルワーク委員会 ○キャリア教育推進委員会 ○司法ソーシャルワーク養成機関立上げに向けた準備会 ○スーパービジョン委員会 ■フック活動部 ○岩国市・和木町フック ○柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町 フック ○周南市・下松市・光市フック ○山口市・美祢市フック ○防府市フック ○宇部市フック ○山陽小野田市フック ○萩市・長門市・阿武町フック ○下関市フック ■総合企画部 ○企画チーム事業 ・独立型社会福祉士実践報告会&情報交換 企画チーム ・6月総会講演企画チーム ・3月総会講演企画チーム ○eラーニング事業 ○生涯研修センター運営事業 ○受講者推薦事業 ○日本社会福祉士会支援事業
給料手当	6,620,952	6,491,298	129,654	
臨時雇賃金	3,659,612	3,706,075	△ 46,463	
福利厚生費	946,084	971,569	△ 25,485	
会議費	968,149	956,350	11,799	
旅費交通費	865,122	318,088	547,034	
通信運搬費	1,043,710	961,968	81,742	
消耗品費	218,648	187,117	31,531	
印刷製本費	864,930	1,366,912	△ 501,982	
賃借料	1,584,333	1,256,989	327,344	
保険料	86,400	78,700	7,700	
諸謝金	4,482,817	3,783,769	699,048	
租税公課	23,200	10,200	13,000	
支払負担金	4,637,500	4,513,795	123,705	
雑費	18,491	17,644	847	
渉外費	12,712	22,300	△ 9,588	
管理費	1,050,143	907,092	143,051	
給料手当	15,550	38,928	△ 23,378	○正規職員給与
臨時雇賃金	0	0	0	
福利厚生費	209,852	229,706	△ 19,854	○正規臨時職員福利厚生
会議費	59,006	0	59,006	
旅費交通費	66,880	26,740	40,140	○総会
通信運搬費	111,199	57,454	53,745	○電話代 ・郵送代 ・インターネット
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	688	145	543	○印刷代
賃借料	139,668	111,402	28,266	○事務局賃借料・会計ソフト・印刷機・オフィス環境
諸謝金	0	0	0	
租税公課	85,430	94,400	△ 8,970	○法人税・登記手数料
支払負担金	208,950	204,600	4,350	○関係団体会費 ○広告協賛金 ○綱紀案件事務委託料
雑費	152,920	143,717	9,203	○会員管理費等
経常費用計	27,082,803	25,549,866	1,532,937	
当期経常増減額	6,378,639	6,437,469	△ 58,830	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>6,378,639</b>	<b>6,437,469</b>	<b>△ 58,830</b>	
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>45,545,523</b>	<b>39,108,054</b>	<b>6,437,469</b>	
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>51,924,162</b>	<b>45,545,523</b>	<b>6,378,639</b>	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 297,893	△ 236,884	△ 61,009	
一般正味財産への振替額	△ 297,893	△ 236,884	△ 61,009	・ 寄付金事業経費 ・ 寄付金事務的管理経費
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 297,893</b>	<b>△ 236,884</b>	<b>△ 61,009</b>	
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>2,101,595</b>	<b>2,338,479</b>	<b>△ 236,884</b>	
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>1,803,702</b>	<b>2,101,595</b>	<b>△ 297,893</b>	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>53,727,864</b>	<b>47,647,118</b>	<b>6,080,746</b>	

正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2023年4月1日から2024年3月31日まで

（単位：円）

科目	委託事業部					
	障害者権利擁護センター運営事業	高齢者権利擁護推進委員会	地域包括ケア専門職派遣システム構築事業	子どもの権利擁護のための相談体制事業	住宅改修等点検に係る専門職派遣事業	下関市成年後見制度利用促進支援事業
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入金	0	0	0	0	0	0
受取入金	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0
ばあとなあ山口会員会費	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	0	0	0	0	0
資格取得支援事業収益	0	0	0	0	0	0
地域権利擁護事業収益	0	0	0	0	0	0
会員活動支援事業収益	0	0	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	6,770,000	998,000	1,357,028	6,550,000	837,315	275,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0
県受託収益	6,770,000	998,000	1,357,028	6,550,000	837,315	0
市町受託収益	0	0	0	0	0	275,000
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0
会員管理手数料	0	0	0	0	0	0
経常収益計	6,770,000	998,000	1,357,028	6,550,000	837,315	275,000
(2) 経常費用						
事業費	6,770,000	998,000	1,357,028	6,550,000	837,315	275,000
給料手当	1,951,200	511,790	872,560	2,230,000	788,660	209,985
臨時雇賃金	2,235,600	0	0	480,000	0	0
福利厚生費	308,940	0	0	0	0	0
会議費	83,148	63,960	0	38,376	0	0
旅費交通費	321,064	19,010	29,740	290,232	1,380	0
通信運搬費	316,597	58,791	47,115	271,992	3,125	815
消耗品費	126,418	24,068	6,003	59,809	2,350	0
印刷製本費	265,270	58,426	15,500	83,142	5,000	0
賃借料	814,263	11,955	0	225,137	0	0
保険料	15,000	0	0	0	0	0
諸謝金	320,000	250,000	385,110	2,291,000	36,800	64,000
租税公課	10,000	0	1,000	12,000	0	200
支払負担金	0	0	0	561,100	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0
渉外費	2,500	0	0	7,212	0	0
経常費用計	6,770,000	998,000	1,357,028	6,550,000	837,315	275,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2023年4月1日から2024年3月31日まで

（単位：円）

科目	公益事業部				
	権利擁護センタ ーばあとなあ山口 委員会	スクールソーシ ャルワーク委員会	キャリア教育推 進委員会	司法ソーシャル ワーカー養成機 関立上げに向けた 準備会	スーパージョ ン委員会
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0
受取会費	2,463,950	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0
ばあとなあ山口会員受取会費	2,463,950	0	0	0	0
事業収益	0	12,500	1,260,800	0	5,000
資格取得支援事業収益	0	0	435,800	0	0
地域権利擁護事業収益	0	12,500	0	0	0
会員活動支援事業収益	0	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	825,000	0	5,000
受取補助金等	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0
県受託収益	0	0	0	0	0
市町受託収益	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0
雑収益	11,979	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0
会員管理手数料	11,979	0	0	0	0
経常収益計	2,475,929	12,500	1,260,800	0	5,000
(2) 経常費用					
事業費	2,076,304	81,955	924,987	121,211	75,494
給料手当	17,211	1,421	5,319	1,864	1,505
臨時雇賃金	944,012	0	0	0	0
福利厚生費	193,148	15,954	59,717	20,930	16,905
会議費	379,041	44,772	69,564	38,376	44,772
旅費交通費	29,720	0	57,525	3,000	0
通信運搬費	122,105	1,395	51,980	2,852	1,960
消耗品費	0	0	0	0	0
印刷製本費	1,509	124	412,458	3,532	131
賃借料	133,267	14,289	76,424	12,657	10,221
保険料	71,400	0	0	0	0
諸謝金	40,000	4,000	192,000	8,000	0
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	126,400	0	0	30,000	0
雑費	18,491	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
経常費用計	2,076,304	81,955	924,987	121,211	75,494
評価損益等調整前当期経常増減額	399,625	△ 69,455	335,813	△ 121,211	△ 70,494
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	399,625	△ 69,455	335,813	△ 121,211	△ 70,494
当期一般正味財産増減額	399,625	△ 69,455	335,813	△ 121,211	△ 70,494



正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2023年4月1日から2024年3月31日まで

（単位：円）

科目	ブロック活動部		総合企画部		
	ブロック支援事業	ソーシャルワーカー（福祉・介護への理解促進事業）	独立型社会福祉士実践報告会&情報交換会	生涯研修センター運営事業	e-ラーニング事業
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0
ばあととなあ山口会員会費	0	0	0	0	0
事業収益	4,500	0	0	1,154,000	0
資格取得支援事業収益	0	0	0	0	0
地域権利擁護事業収益	0	0	0	0	0
会員活動支援事業収益	4,500	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	0	1,154,000	0
受取補助金等	0	300,000	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	300,000	0	0	0
県受託収益	0	0	0	0	0
市町受託収益	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0
会員管理手数料	0	0	0	0	0
経常収益計	4,500	300,000	0	1,154,000	0
(2) 経常費用					
事業費	347,628	300,000	42,861	773,631	165,550
給料手当	7,803	0	886	14,459	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
福利厚生費	87,600	0	9,952	162,322	0
会議費	108,000	0	19,188	0	0
旅費交通費	0	32,600	60	8,560	0
通信運搬費	13,621	87,910	681	13,679	550
消耗品費	0	0	0	0	0
印刷製本費	680	9,170	77	3,945	0
賃借料	64,517	64,320	6,017	98,166	0
保険料	0	0	0	0	0
諸謝金	65,407	106,000	6,000	469,500	0
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	165,000
雑費	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	3,000	0
経常費用計	347,628	300,000	42,861	773,631	165,550
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 343,128	0	△ 42,861	380,369	△ 165,550
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 343,128	0	△ 42,861	380,369	△ 165,550
当期一般正味財産増減額	△ 343,128	0	△ 42,861	380,369	△ 165,550

正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2023年4月1日から2024年3月31日まで

（単位：円）

科目	総合企画部					
	総合企画部会事業	受講者推薦事業	広報啓発事業	6月講演会	3月講演会	日本社会福祉士会 支援事業
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0
ばあとなあ山口会員会費	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	0	0	0	0	0
資格取得支援事業収益	0	0	0	0	0	0
地域権利擁護事業収益	0	0	0	0	0	0
会員活動支援事業収益	0	0	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0
県受託収益	0	0	0	0	0	0
市町受託収益	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0
会員管理手数料	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用						
事業費	77,415	75,206	36,915	23,745	51,605	3,791,661
給料手当	1,949	795	91	795	886	1,773
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	21,881	8,927	1,024	8,927	9,952	19,905
会議費	38,376	2,200	0	0	12,792	0
旅費交通費	0	56,591	0	1,660	2,800	0
通信運搬費	1,807	1,227	35,176	897	791	2,793
消耗品費	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	170	69	7	69	2,367	154
賃借料	13,232	5,397	617	5,397	6,017	12,036
保険料	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	6,000	16,000	0
租税公課	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	3,755,000
雑費	0	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0	0
経常費用計	77,415	75,206	36,915	23,745	51,605	3,791,661
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 77,415	△ 75,206	△ 36,915	△ 23,745	△ 51,605	△ 3,791,661
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 77,415	△ 75,206	△ 36,915	△ 23,745	△ 51,605	△ 3,791,661
当期一般正味財産増減額	△ 77,415	△ 75,206	△ 36,915	△ 23,745	△ 51,605	△ 3,791,661

# 正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般社団法人 山口県社会福祉士会  
実施事業会計

尾崎邦子氏寄付金事業  
(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	50,000	78,000	△ 28,000	
福祉人材育成事業	50,000	78,000	△ 28,000	・名簿登録研修
受取負担金	68,744	54,665	14,079	
受取負担金振替額	68,744	54,665	14,079	・寄付金事務的管理経費
受取寄付金	229,149	182,219	46,930	
受取寄付金振替額	229,149	182,219	46,930	・寄付金事業経費
雑収入	0	0	0	
経常収益計	347,893	314,884	33,009	
(2) 経常費用				
事業費	279,149	260,219	18,930	
給料手当	0	0	0	
臨時雇賃金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
会議費	25,584	24,000	1,584	・圏域別勉強会
旅費交通費	11,180	5,556	5,624	
通信運搬費	5,851	4,025	1,826	・振込手数料
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	3,130	0	3,130	
賃借料	10,404	13,638	△ 3,234	・無料相談会
保険料	0	0	0	
諸謝金	223,000	213,000	10,000	・圏域別勉強会 ・名簿登録研修 ・名簿登録更新研修 ・無料相談会
支払負担金	0	0	0	
経常費用計	279,149	260,219	18,930	
評価損益等調整前当期経常増減額	68,744	54,665	14,079	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	68,744	54,665	14,079	
当期一般正味財産増減額	68,744	54,665	14,079	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	68,744	54,665	14,079	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 297,893	△ 236,884	△ 61,009	
一般正味財産への振替額	△ 297,893	△ 236,884	△ 61,009	
当期指定正味財産増減額	△ 297,893	△ 236,884	△ 61,009	
指定正味財産期首残高	2,101,595	2,338,479	△ 236,884	
指定正味財産期末残高	1,803,702	2,101,595	△ 297,893	

# 正味財産増減計算書（会計別）

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

（単位：円）

科目	実施事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	195,000	195,000
受取入会金	0	195,000	195,000
受取会費	2,463,950	10,819,000	13,282,950
正会員受取会費	0	10,803,000	10,803,000
賛助会員受取会費	0	16,000	16,000
ばあとなあ山口会員会費	2,463,950	0	2,463,950
SSW会員受取会費	0	0	0
事業収益	2,486,800	0	2,486,800
資格取得支援事業収益	435,800	0	435,800
地域権利擁護事業収益	12,500	0	12,500
会員活動支援事業収益	4,500	0	4,500
福祉人材育成事業収益	2,034,000	0	2,034,000
調査・研究事業収益	0	0	0
受取補助金等	17,087,343	0	17,087,343
受取地方公共団体補助金	300,000	0	300,000
県受託収益	16,512,343	0	16,512,343
市町受託収益	275,000	0	275,000
受取負担金	68,744	0	68,744
受取負担金	0	0	0
受取負担金振替額	68,744	0	68,744
受取寄付金	229,149	0	229,149
受取寄付金振替額	229,149	0	229,149
雑収益	11,979	99,477	111,456
受取利息	0	410	410
雑収益	0	0	0
会員管理手数料	11,979	99,067	111,046
経常収益計	22,347,965	11,113,477	33,461,442
(2) 経常費用			
事業費	26,032,660	0	26,032,660
給料手当	6,620,952	0	6,620,952
臨時雇賃金	3,659,612	0	3,659,612
福利厚生費	946,084	0	946,084
会議費	968,149	0	0
旅費交通費	865,122	0	865,122
通信運搬費	1,043,710	0	1,043,710
消耗品費	218,648	0	218,648
印刷製本費	864,930	0	864,930
賃借料	1,584,333	0	1,584,333
保険料	86,400	0	86,400
諸謝金	4,482,817	0	4,482,817
租税公課	23,200	0	23,200
支払負担金	4,637,500	0	4,637,500
雑費	18,491	0	0
渉外費	12,712	0	12,712
管理費	0	1,050,143	1,050,143
給料手当	0	15,550	15,550
福利厚生費	0	209,852	209,852
会議費	0	59,006	59,006
旅費交通費	0	66,880	66,880
通信運搬費	0	111,199	111,199
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	688	688
賃借料	0	139,668	139,668
租税公課	0	85,430	85,430
支払負担金	0	208,950	208,950
雑費	0	152,920	152,920
渉外費	0	0	0
経常費用計	26,032,660	1,050,143	27,082,803
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,684,695	10,063,334	6,378,639
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,684,695	10,063,334	6,378,639
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,684,695	10,063,334	6,378,639
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 297,893	0	△ 297,893
一般正味財産への振替額	△ 297,893	0	△ 297,893
当期指定正味財産増減額	△ 297,893	0	△ 297,893
指定正味財産期首残高	2,101,595	0	2,101,595
指定正味財産期末残高	1,803,702	0	1,803,702

## 財務諸表の注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2 債権及び債務の明細

債権及び債務の明細は次のとおりである。

科 目	金 額	内 訳
未収会費	945,496 円	○事業運営負担金（ばあとなあ山口専属職員賃金分）
未収金	12,930,206 円	○地域包括ケア専門職派遣システム構築事業委託料 1,357,028 円 ○高齢者権利擁護推進事業委託料 998,000 円 ○障害者権利擁護センター運営事業委託料 2,770,000 円 ○子どもの権利擁護のための相談体制事業委託料 6,550,000 円 ○住宅改修等点検に係る専門職派遣事業委託料 837,315 円 ○下関市政成年後見利用促進支援事業委託料 68,750 円 ○福祉・介護への理解促進事業補助金 300,000 円 ○所得税及び特別復興所得税の預り金 49,113 円
未払金	1,248,735 円	○法人会計（給与、送料、法人税等） 548,657 円 ○事業会計（臨時雇賃金、送料、謝金等） 700,078 円
預り金	227,483 円	○所得税等の預り金 187,483 円 ○スーパービジョン謝金 40,000 円

### 3 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期 末期 残高	当期増加額	当期減少額	当期 末期 残高	貸借対照表上 の記載区分
地域包括ケア専門職派遣システム構築事業	山口県	0	1,357,028	1,357,028	0	一般正味財産
高齢者権利擁護推進事業	山口県	0	998,000	998,000	0	一般正味財産
障害者権利擁護センター運営事業	山口県	0	6,770,000	6,770,000	0	一般正味財産
子どもの権利擁護のための相談体制事業	山口県	0	6,550,000	6,550,000	0	一般正味財産
住宅改修等点検に係る専門職派遣事業委託料	山口県	0	837,315	837,315	0	一般正味財産
福祉・介護への理解促進事業補助金	山口県	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
下関市成年後見制度利用促進支援事業	下関市	0	275,000	275,000	0	一般正味財産

一般社団法人山口県社会福祉士会

財産目録

2024年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	預金	普通預金		41, 328, 380
	未収会費			945, 496
	未収金			12, 930, 206
流動資産合計				55, 204, 082
資産合計				55, 204, 082
(流動負債)	未払金			1, 248, 735
	預り金			227, 483
流動負債合計				1, 476, 218
負債合計				1, 476, 218
正味財産				53, 727, 864

## 監 査 報 告 書

一般社団法人山口県社会福祉士会  
会 長 辻 中 浩 司 様

令和6年5月6日  
一般社団法人山口県社会福祉士会

監 事 佐々木 啓太  
監 事 大神尚子

私たちは、一般社団法人山口県社会福祉士会の2023年度事業及び財産の状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び定款第28条に基づき監査を行い、次のとおり報告する。

### 1 監事の監査の方法及びその内容

- (1) 私たちは、理事会及びその他重要な会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務遂行の妥当性を検討した。
- (2) 私たちは、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）及び附属明細書の正確性を検討した。

### 2 監査意見

- (1) 計算書類及び附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の業務遂行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上